

2018

JAしまねびより 9



September Vol.30

特集

島根のいいもの再発見!! 「隠岐の島町 島の香り隠岐藻塩米」 隠岐地区本部

来月の
外勤日は

10月20日(土)



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



【隠岐の島町 島の香り隠岐藻塩米】

9月は、隠岐地区本部。隠岐の島町で島の香り隠岐藻塩米（以下、「藻塩米」）の生産に取り組む、生産部会長の村上淳一部会長、藻塩を作っている野津勝友さん、お二人にお話を伺ってきました。



藻塩米作りに欠かせずことのできない久見地区の藻塩。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。
 毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！



ミネラルをたっぷり吸収することで、稲も丈夫に育つそうです。



お話を伺った、藻塩米生産部会長の村上さん。

藻塩米とは、どのようなお米ですか？
 島の特色を生かした製法で作る特別栽培米（減農薬、減化学肥料）で、穂が出てから収穫までの間に藻塩の水溶液を散布して栽培します。海藻を田んぼに肥料として播（ま）いていた伝統農法を現代版にアレンジして作り始めました。日本では珍しいアルカリ岩から構成する島のキメ細かい土は、マグネシウムが県内の平均より1.5倍前後多いとされています。さらに藻塩を薄めた水溶液を散布することで極限までストレスをかけ、ミネラル成分を根と葉からたっぷり吸収し、養分を蓄えることで美味しいお米ができます。平成15年に試験栽培を始め、今年で16年



加工場にある4基の釜で、塩を炊き上げる。



自然豊かな久見地区の天然資源を有効活用し、藻塩作りが行われていました。

藻塩自体はどのように作るのですか？
 米作りに欠かせない藻塩は、海藻アラメと島の綺麗な海水を煮詰めて作っています。隠岐の島北西部の久見地区、吉浦海岸付近で潮の流れなどの状況を見ながら、一番透き通っている海水を一度に400ℓ汲み、海岸近くの加工場の釜で煮立てます。海藻アラメも近くの岩場から採ってきます。海水とアラメは、別々の釜で煮詰め、不純物を何度も濾（こ）して純度を上げ、最後の工程目になりました。特選以上はおもに関東・関西・中京方面を中心に出荷しています。おかげさまで、米専門店などから高い評価をいただいています。



お話を伺った野津さん。関係者は「藻塩仙人」と呼び、そのこだわりに感謝していらっしゃいました。

で海水だけのものと、アラメを煮た濃い赤茶色の海水とを合わせて、さらに煮詰めていきます。約3日間煮込んで、下に塩がとどっているのをすくい、乾燥させてようやく藻塩が完成します。この全工程で約1週間から10日かかります。1トンの海水から作れる量は20〜25kgとわずかですが丁寧にじっくり、こだわりのもって作っています。商品の濃い色からも分かるように海藻のミネラルがたっぷり入って



久見地区の藻塩の特徴でもある赤茶色は、天然のアラメを炊き出した天然ミネラルたっぷりの証。



15年の努力とこだわりが、これからの礎となる。

最初の10年は、生産者全員の意識を統一するまで試行錯誤が長く続きました。日本のトップブランドがどのような戦略で生産販売しているのかを学んだ上で差別化を図り、なんとかしなければならぬと常に考えていました。きっかけは10年経った頃に大きなメディアに取り上げられたことでした。新米は10月から販売が始まりますが、その年は注文が殺到。年内には売り切れ一時は入手困難なお米と騒がれたほどでした。このことで今までは出荷して終わりという感覚でしたが、その先に

藻塩米のブランド化を進めた15年を振り返ってどのように感じられますか？

おり、島独自の特産品として「藻塩」として販売しています。



久見地区の藻塩はお土産としても隠岐の島を代表する商品に。

いる日本の消費者をこれまで以上に意識するようになりました。島の地の利を生かした他では真似できないこだわりや美味しさがきちんと伝われば食べてみたいと思う消費者はたくさんいると実感しました。そこで一から体制を見直し、島内どの生産者のお米でも同じ品質になるよう、栽培マニュアルを細かく作成。土壌分析を行い、生産者への個人面談による土の成分の統一化、生産者全員によるほ場巡回、フェイスブックによる情報発信など、意識の統一による品質の統一への取り組みを精力的に行いました。ここ5年でブランド



一粒一粒へのこだわりが、ブランド米としての品質と魅力、そして成果へとつながる。

島の香り隠岐藻塩米 一口メモ

藻塩米は「島の香り隠岐藻塩米コシヒカリ（きぬむすめ）」として、平成30年度の島根県米づくり重点推進事項のこだわり米部門の一つとして位置づけられている。一般、特選、ジオパーク米（特選）と3つの等級があり、特選以上は整粒（病害虫の被害の無い完全粒）歩合が80%以上。農薬・化学肥料は特選が5割、ジオパーク米は7割減らし、特徴あるブランド米として全国的にも認知度が上がり人気が高まっている。5年前の平成25年度は16人計26ヘクタールで生産していたが、平成30年では18人が計40ヘクタールの面積で生産に取り組んでいる。



でも同じ味になるよう品質の味が進んでいるのは、何よりも味が美しく、また誰のお米でも同じ味になるよう品質の

理由や今後の展望など教えてください。

化は順調に進み、高い評価をいただいたはいますが、今後は消費者を飽きさせない取り組みが必要と考えています。「コシヒカリ」に加えて「きぬむすめ」での栽培を平成28年から開始。あっさりとした食感を好む比較的若い世代向けとして、新たなターゲットの開拓を行なっています。



「強固なブランド」を見据え、生産部会とJA、そして様々な関連機関と連携。「次の手」に余念がない。

統一を図ることで、消費者の信頼を得られたからだと考えています。これまではミネラルを大きなPRポイントの一つとしていましたが、現在は島根大学等と米の成分の特徴について産学連携での共同研究を行なっています。例えばアミノ酸や葉酸など、ミネラル以外の成分をデータ分析し健康機能性の観点からも何か特徴があるのではないかと検証を進めています。現状に満足せず、毎年マイナーチェンジを繰り返しながら消費者に長く愛されるブランド米作りを続けていこうと考えています。

チャレンジ / 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3力年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

JAしまね 組合員アンケート調査結果について ～組合員のみなさまへ～

当JAが取り組む「自己改革」の一環として、組合員の方々からJAしまねへの評価を認識するとともに、多様化する組合員の皆さまを類型化し、それぞれのニーズやJAとのつながり等を「見える化」することにより、組合員・地域住民から必要とされ、組合員とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指すため、JA全中を中心に開発された「組合員アンケート」を活用し、JAしまね独自質問項目を含めたアンケート調査を実施いたしました。その調査結果をご報告します。

JAしまね 組合員アンケート調査概況

1. 実査日程 平成29年12月15日～12月29日
質問項目 正組合員 28項目（JAしまね独自項目2項目）
准組合員 29項目（JAしまね独自項目2項目）
2. 調査対象者 正組合員 2,000名（無作為抽出）
准組合員 4,000名（無作為抽出）
3. 調査票回答者 正組合員 975名（回収率48.8%）
准組合員 1,281名（回収率32.2%）
4. 調査票回収率

JAしまね 組合員アンケート全国共通設問結果（概要）

1. JAしまねに期待する役割	正組合員	准組合員
最も期待しているのは「農」	最も期待しているのは「食」	最も期待しているのは「食」
地域農業の振興	安心できる農産物・食料品の提供	
担い手経営支援		
農地の保全		

今後、正組合員の期待「農」に応える事業運営に注力し、准組合員の期待「食」に一定応える事業運営がなされているとの評価を受け止め、引き続き、「食」と「農」を基軸とした地域に根ざした協同組合をめざし、一層の役割発揮に努めます。

2. JAしまねの強み・弱み（概要）

- 「JAしまねの強み」
 - 正・准組合員の「事業利用」が全国平均を上回る。
 - 准組合員の「活動参加」が全国平均を上回る。
- 「JAしまねの弱み」
 - 正・准組合員の「意識点」（親しみ・必要性・理解）が全国平均をわずかに下回る。
 - 正組合員の「活動参加」・「組合員組織加入」が全国平均を下回る。

＜分析と対応＞

○JAしまねの強みとしては、正・准組合員ともに「営農」「信用・共済」「生活」の「事業利用」が、いずれも全国平均以上となっており、事業の複合利用率も全国平均を上回っている。

○准組合員では、生活店舗（Aコープ・ラピタ等）を准組合員の55%が月に複数回以上利用するなど、生活事業の利用頻度が高く、また加入きっかけの10%を総合ポイントが占めるなど、総合ポイント効果を発揮している。

↓JAの総合事業をよくご利用いただいていることは、当JAの強みであることから、アンケート結果を参考に性別・年齢別等のニーズをふまえた事業利用の拡大に取り組んでまいります。

○准組合員の「活動参加」は全国平均を上回り、「農業まつり・JAまつり」に41%が参加するほか「支店での各種イベント」「JAの直売所での各種イベント」への参加率が20%以上と、准組合員として一定高い水準にある。

↓JAしまねは、准組合員数が総組合員数の72%と大きな割合を占めていることも踏まえ、引き続き准組合員の接点づくりに取り組みます。

具体的には、JAしまねのイベントや各種講座・料理教室などにご参加いただき、JAの活動を通じてJAに親しみ・必要性を持っていただけるよう努めます。

○JAしまねの弱みとしては、正・准組合員ともにJAに対する親しみ・必要性・理解等の「意識点」が全国平均をわずかに下回る。

↓JAの取り組み理解に向けて、広報誌「しまねびより」や支店だより・ホームページの内容充実・活用に努め、また、マスメディアも活用し、地域農業やJAの取り組み等について、一層の情報発信に努めます。

↓准組合員の「食べて応援」「作って応援」の拡大により、意識点の向上が期待できることから、

直売所や生活店舗などを活用した「食」の取り組みや、若い年齢層に向けて、農業体験などの「農」の取り組みを展開していきます。

○特に販売額が1,000万円以上の担い手経営体と、回答数の3割以上を占める販売のない多様な担い手は、JAへの理解や親しみ度とともに事業利用率も低い水準にあり、担い手経営体の25%は、営農関連事業を利用していない。

↓「担い手経営体」「販売のない多様な担い手」については、アプローチを強化し、それぞれのニーズをふまえた営農関連事業の利用促進に努め、総代会・集落座談会などの意思反映の場への参加促進を図るなど、取り組みを強化します。

○正組合員は、農業まつり・JAまつりなどの「活動参加」が全国平均を下回り、特に「男性・64歳以下」「女性・50～64歳」で活動参加が低い。

○正組合員は「集落単位の組織」「営農組合等」を中心に組合員組織への参加がみられるものの、青年連盟や各種野菜部会等の組合員組織への参加率は全国平均を下回っている。

↓組合員類型・性別・年代別等の分類によるアンケート分析をもとに、それぞれのニーズをふまえた活動の企画・実践、呼びかけを通じて、活動参加促進に取り組み、JAへの「意識点」を高め、組合員組織加入・意思反映の場への参加・事業利用につなげていきます。

↓「組合員組織加入」は、「意思反映」「運営参画」の向上にもつながる重要な要素であることから、既存の組合員組織における組合員のニーズをふまえた内容の拡充や加入促進など、一層の組合員組織の活性化に取り組みます。

以上のほかにも、多角的な分析を行っており、組合員の評価・意向を踏まえたJA運営に活用して参ります。

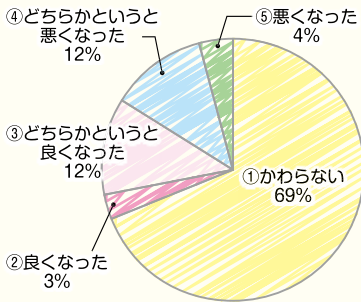
今後も継続的に、このようなアンケート等を行ってまいります。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

JAしまね 組合員アンケート個別設問集計結果

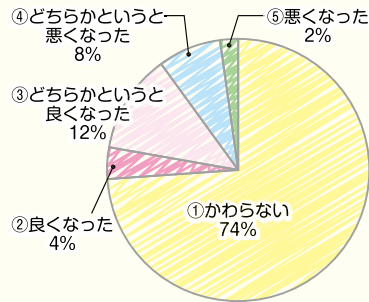
【設問1】JAをご利用いただく上で、新JA発足前と変わったと感じることがありますか？

(1) 正組合員



<主なご意見>
 ・地元の職員（顔なじみ）がいなくなり、親しみが感じられない。
 ・人事異動により、担当職員が度々替わり、相談もしにくい。
 ・JAが統合し、JAが遠くなり、自分たちのJA意識がなくなってきた。
 ・職員の対応が親切・丁寧、挨拶もよい。

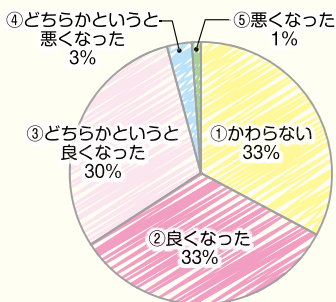
(2) 准組合員



<主なご意見>
 ・地元の職員がいなくなり、親近感がなく、職員に相談しにくい。
 ・統合し、地域の地域特性がなくなり、地域密着イメージが薄れた。
 ・統合メリットを感じる。（貯金手続き、ポイント、県内一体感など）
 ・職員の対応がよく、明るくなった。

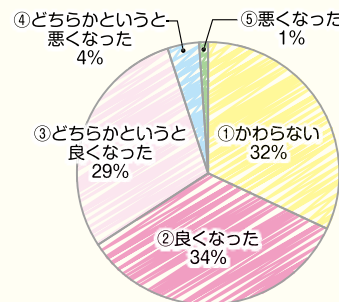
【設問2】職員の態度、対応の様子等についてはどうですか？

(1) 正組合員



<主なご意見>
 ・対応が丁寧、親切。
 ・対応がスムーズ。
 ・身近な職員が少なくなつた。

(2) 准組合員



<主なご意見>
 ・挨拶、笑顔が良い。
 ・親切、丁寧。
 ・職員によって対応が違う。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

出雲市 エドガー・ピミアント・チャモロウさん (53)



エドガー・ピミアント・チャモロウさんは、出雲市大社町でシャインマスカットを30アール栽培しています。出身はコロンビアで、15年前に来日。地質調査や防災関係の仕事をしていましたが、区切りがついた6年前、周囲からの勧めもあって就農を決意しました。大社町のぶどう農家での研修、出雲市のアグリビジネススクールのぶどうチャレンジ講座を経て、平成25年に認定新規就農者となりました。

エドガーさんがJAしまね農業振興支援事業を活用して導入したのは、薬剤散布に使う動力噴霧器です。就農当初は若木が多く使用頻度が低かったため、研修先のぶどう農家から借りたりしていましたが、成木になって防除回数や散布量も多くなってきたため平成29年度事業を活用して導入しました。適期防除を徹底することで品質向上にもつながり、昨年と比べても良いものが増えているといえます。化粧箱での出荷も増えてきました。

エドガーさんは「皆さんに喜んでもらえるような高品質なシャインマスカットを作り、所得向上にもつなげていきたい」と意欲を話してくださいました。



理事会情報 (7月30日開催)

協議事項

- ①平成31年度島根県農業政策および予算に関する要望について
- ②7月豪雨による農業被害状況および「平成30年7月豪雨に伴う農業被害復興対策支援要領」の設定について
- ③平成30年産島根米の生産者からの買入れ手法について
- ④平成29年度期末決算監事監査報告書整備改善を要する事項(個別意見書)への回答について
- ⑤平成29年度JA全国監査機構決算監査内部統制等に関する改善指示事項の回答について
- ⑥株式会社JA江津葬祭会館の設立および役員派遣について
- ⑦新たなテレビ会議システムの導入について
- ⑧土地の取得について
- ⑨常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑩新たな運営体制および役員定数と地区本部運営委員会の再構築と強化(各総代との協議資料)について
- ⑪臨時総代会の日程および会場について
- ⑫人事ローテーションに関する基本的な考え方について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

地区本部トピックス

雲南

子ども料理教室「かもこ塾kids+」 地元団体らが協力し初開催

雲南市の加茂町総合保健福祉センターかもてらすで8月6日、地元小学生を対象とした料理教室「かもこ塾kids+」が開催されました。(株)キラキラ雲南(雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会)が企画する「うんなん元気っ子わくわく教室」の一環で、加茂まちづくり協議会、JAしまね雲南女性部の3者が協力し、初の開催となりました。

今まで小学生を対象とした料理教室は、スタッフの確保や指導者の手配に課題があり開催を見合わせていましたが、活動の輪を広げようと他団体との関係強化を図っている雲南女性部と同協議会が力を合わせることで実現しました。

当日は市内在住の小学生20人が参加し、講師の森山茜さんや雲南女性部加茂支部員の指導のもと、本格的なピザ生地作りや地元野菜を使ったサラダなど5品を作り上げました。雲南女性部の事務局は「団体ごとに得意とする分野があるはず。協力し、地域が活気づくようなイベントができれば嬉しい」と笑顔で話します。



スタッフはできるだけ手を出さず、子ども達は積極的に取り組みました。

くにびき

生産者の顔が見える笑顔のマーケット! 水辺の朝市夏のイベント開催

水辺の朝市連絡協議会(山根茂会長)は8月12日、松江市役所駐車場で、水辺の朝市夏のイベントを開催し、多くの人で賑いました。

同協議会は、29組の地元農家や生産グループで構成。毎週日曜日の朝に同所で開催しています。地場産の新鮮な野菜や花を持ち寄り販売し、利用者からは、生産者の顔が見えるので安心して買えると好評を得ています。お盆の8月と年末の12月には品数を増やして開催。

当日は、開催時間の朝7時よりも前から長蛇の列ができ、開始の合図とともに、目当てのケイトウ、菊などの盆用の花やトマト、ブドウなど旬の農産物を買って求めていました。また、先着150名へ、きぬむすめ2合入袋を進呈する企画もあり、大勢の来場者で賑いました。

山根会長は「高温続きで苦労しているが、生産者の努力でよい商品が並んだ。今後も愛される朝市を目指したい」と意気込みを語りました。



隠岐

エコライフ運動として 「みどりのカーテン」活動を実施中

JAしまねでは、JAしまね女性組織との統一活動として、「大きなあれ!環境にやさしい心と食への感謝」を統一スローガンに「みどりのカーテン」に取り組み、見た目にも涼やかに消費電力削減に努め、併せて取り組みが広がるよう、地域の方々へエコライフ活動のPRをしています。今年度、隠岐地区本部では4支店の軒下で「ゴーヤ」と「朝顔」をプランター栽培し、植物で作るカーテンにより室内温度の上昇を抑える活動を行っています。実施している4支店の内1支店は、葉を青々とさせ大きな日陰を作ることが出来ました。3支店では、朝顔の芽出しが上手くいかず断念をしたり、ゴーヤの葉が思うように広がらなかったりしましたが、来年以降も継続して取り組みを行いたいと思います。



やすぎ

米粉でピザ作り!

やすぎ地区本部は8月8日に、広瀬こクラブの児童たち27人と米粉を使ったピザ作りを行いました。児童たちは米粉と豆腐をこねた生地をカップに伸ばし、ピーマンやトマト、ナス、タマネギ等の地元野菜とチーズやベーコンなどを盛りつけました。焼き上がったピザは熱く、児童たちはふうふうしながら昼食に味わいました。

またピザを焼いている間に、JA職員による家の光雑誌のちゃぐりん8月号を使った農業に関するクイズを行い、児童たちは知らなかった農業の知識を学びました。

児童たちは「ピザ作りは簡単で、米粉でも美味しかったです」「クイズは難しかったけど、楽しかった」と感想を言いました。



完成した米粉ピザ



ピザを食べている様子

斐川

あぐり探検隊 夏野菜収穫、調理体験！

8月5日、JAしまね斐川地区本部と出雲市は町内の小学生3～6年生を対象に、農業体験企画「第3回あぐり探検隊」を開き、隊員15人と保護者が参加しました。5月に植えたキュウリ、ミニトマト、ナスなど6種類の夏野菜を収穫し、講師に料理工房「創」店主の周藤明美さんを招き、同JA斐川女性部協力のもと、夏野菜をふんだんに使った「ラタトゥイユ」「ラップソーセージドッグ」「フルーツポンチ」の3品を完成させ、昼食として味わいました。3回目ともなると、隊員同士顔馴染みも増え、協力しながら収穫したり、教えあいながら調理する姿が見られました。参加した保護者からは「家には畑が無いので、親子で農作業体験ができるのは嬉しい経験」といった声が聞かれました。次回は9月に稲の収穫作業を行う予定です。



ナスを収穫！！



周藤さんに野菜の切り方を教わりました

隠岐 どうぜん

景勝地国賀・摩天崖で 草を食む放牧馬

隠岐国賀といえばすぐに頭に浮かぶものの一つに、牛馬が草を食む風景があります。隠岐諸島にはかつて臥体の小さい隠岐在来の固有種「隠岐馬」が生存していたことや、島前地域においては戦前より軍用馬を供給していたことなどから、馬の飼養が盛んに行われていた時代がありました。戦後は肉用馬生産と農耕、材木の搬出作業を絡めて飼養していましたが、昭和40年代の全国離島ブームの到来により、観光客で島が沸き返り、観光資源としての価値がクローズアップされたこともありました。年間放牧が可能で飼養手間が比較的掛からない利点がある一方で、人工授精が普及しておらず妊娠期間が約1年と長い割に、市場価格が牛に比べ格段に安かったため次第に頭数が減少、このため、西ノ島町は町有馬の貸付制度などJAとの連携による頭数維持施策を講じてきましたが、ここに来て価格の高騰に反して飼養農家の高齢化が最大の問題になりつつあります。とはいえ、隠岐の絵になる風景として大事に引き継いでいきたいものです。



石見銀山

天領さん正調踊り

JAしまね石見銀山女性部とJA石見銀山地区本部職員31人が8月5日に、大田市で開かれた祭「第38回天領さん」の正調踊り部門に出場しました。

揃いの浴衣、JAロゴ入り法被を身に付け、心を一つにし、一糸乱れぬ踊りを披露しました。

JAでは、女性部と職員が合同で毎年地域の祭りに参加し、地域振興に取り組んでいます。9月15日には、運動会を共催し、組織の基盤強化に取り組む予定です。



出雲

「第13回出雲神話まつり」 出雲盆踊りにJA職員も参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第13回出雲神話まつり」が8月11、12日の両日開かれ、11日の「出雲盆踊り」にJAしまね出雲地区本部の若手職員が参加しました。今年は入組1・2年目の職員15人が参加。色鮮やかなそろいの浴衣を着て、踊りながら今市町のくまびき中央通りを練り歩きました。

「出雲盆踊り」には、同JA女性部の荒茅支部の部員も参加するなど36団体、約1,000人が参加しました。団体ごとに衣装を揃え、市内各地区の特色を盛り込んだ唄に合わせて踊り歩き観客を楽しませました。

12日には大津神立河川敷公園で花火大会も行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員

西いわみ

匹見町でちゃぐりんフェスタ開催

JAしまね西いわみ女性部匹見支部（支部長村田幸枝）は8月3日、益田市匹見町で「ちゃぐりんフェスタ」を開きました。

同町匹見地区振興センターを会場に、町内外から参加した児童ら12名が料理や工作を楽しみました。

当日は、女性部員が料理の講師役となり、児童らと一緒に「ちゃぐりん」掲載レシピの中から夏野菜を使った「トマト丸ごと炊き込みごはん」など5品を調理しました。

午後からは保護者やJA担当者が講師役となり、「空きカンの魚つり」と「ペットボトル空気砲」を作って遊びました。

「ちゃぐりん」は家の光協会が発行する子供向け月刊誌で、毎月料理や工作の紹介のほか、農業や食に関する話題を載せています。

参加した児童の一人は「友達も出来て、とても楽しかった。また参加したい」と喜びました。



島根おおち

羽須美支店ミニ来店感謝DAY

島根おおち地区本部羽須美支店では、8月10日(金)、2ヶ月に一度の羽須美支店お客様ミニ感謝デーを開催しました。今回はご来店頂いた方に、みどりのカーテンの取り組みとして育てたネットメロン「ころたん」の試食と、ケイトウの花のプレゼントを行いました。この「ころたん」は、手のひらサイズでさわやかな甘みが特徴のかわいらしいメロンですが、写真の様な栽培をしたため「マスクをかけて育てている面白いメロンがある！」と、地元のケーブルテレビでも紹介されました。「ころたん」の試食は、植え付け当初から成長を見守ってくださった方々も楽しみにされていたようで、当日はたくさんの方にご来店頂き、「ちゃんとメロンの味がするね」「甘くておいしい！」と好評でした。ケイトウは、赤・ピンク・オレンジの花を用意し、お盆前ということもありとても喜んで頂けました。

島根おおち地区本部では他の支店でも、様々な植物を育てる取り組みを行っています。



実の保護のためマスクを付けた「ころたん」

本店

TAC活動発表大会 くにびき地区本部の片寄職員が最優秀賞

JA全農、同鳥取県本部、JAしまねは8月21日、「平成30年度山陰ブロックTACパワーアップ大会～TAC活動発表大会～」を出雲市のラピタ本店で開催しました。

JAしまね各地区本部の地域農業の担い手に向くJA担当者（愛称TAC＝タック）25人が取組事例を発表し、「トロ箱ミニトマトの共販出荷による収益性の向上」と題して発表した、くにびき地区本部の片寄俊一職員が最優秀賞を受賞しました。

この大会は、担い手の手取り最大化支援、地域生産振興支援など優れたTAC活動を共有化するとともに、参加者間で面的展開に向けて検討をすることを目的としています。

最優秀賞の片寄職員は、「ミニトマトの市場単価が低く、出荷しても雑に扱われているように感じてしまう」という担い手の意見から、ミニトマトを共販してはどうかと提案。その結果、市場への安定供給が出来るようになり市場の平均単価が向上（前年対比112%）し、担い手の意欲向上にもつながった活動が評価されました。



いわみ中央

絆づくりの大会 『JAふれあいの集い2018』

JAしまねいわみ中央地区本部は、「JAふれあいの集い2018」を開催しました。「協同の心で地域活性化」をテーマに、来賓の江津市長、県議会議員をはじめ組合員や地域住民利用者、JA女性部、JA役職員ら600人が集まり盛大なイベントとなりました。今年は、会場を管内の江津市総合市民センターに移しての開催となりました。

集いでは、みどりを守る小学生作文コンクール入賞作品発表や女性部の家の光記事活用体験発表のほか、立正大学経済学部の北原克宣教授に「JA自己改革と女性の役割」と題して講演していただき来場者も真剣に聞き入っていました。

後半は、オープニングに江津の青壮年会 傘踊り隊による傘踊りでスタート。JA女性部とJA職員によるふれあいステージでは、会場が一緒になって盛り上がりました。また、会場ロビーに設営された女性部員の手作り手芸品や加工品販売コーナー・JA特産品販売コーナーではブドウや梨が特別価格で販売され賑わいました。



基本方針

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため、増加している加工・業務用需要を取り込むべく、外食・中食業界に対する直接販売に取り組みます。また生産資材価格の引き下げを実現するため、県域を超えた銘柄の集約や費用対効果による総合的な提案を行い、生産資材コストの削減に取り組みます。

「地域の活性化」への貢献

総合事業（営農・経済、生活・購買、信用、共済、厚生、旅行、介護、直売・加工等）を通じて、組合員と地域住民の生活インフラの一翼として役割を發揮します。

健全経営の為の取り組み

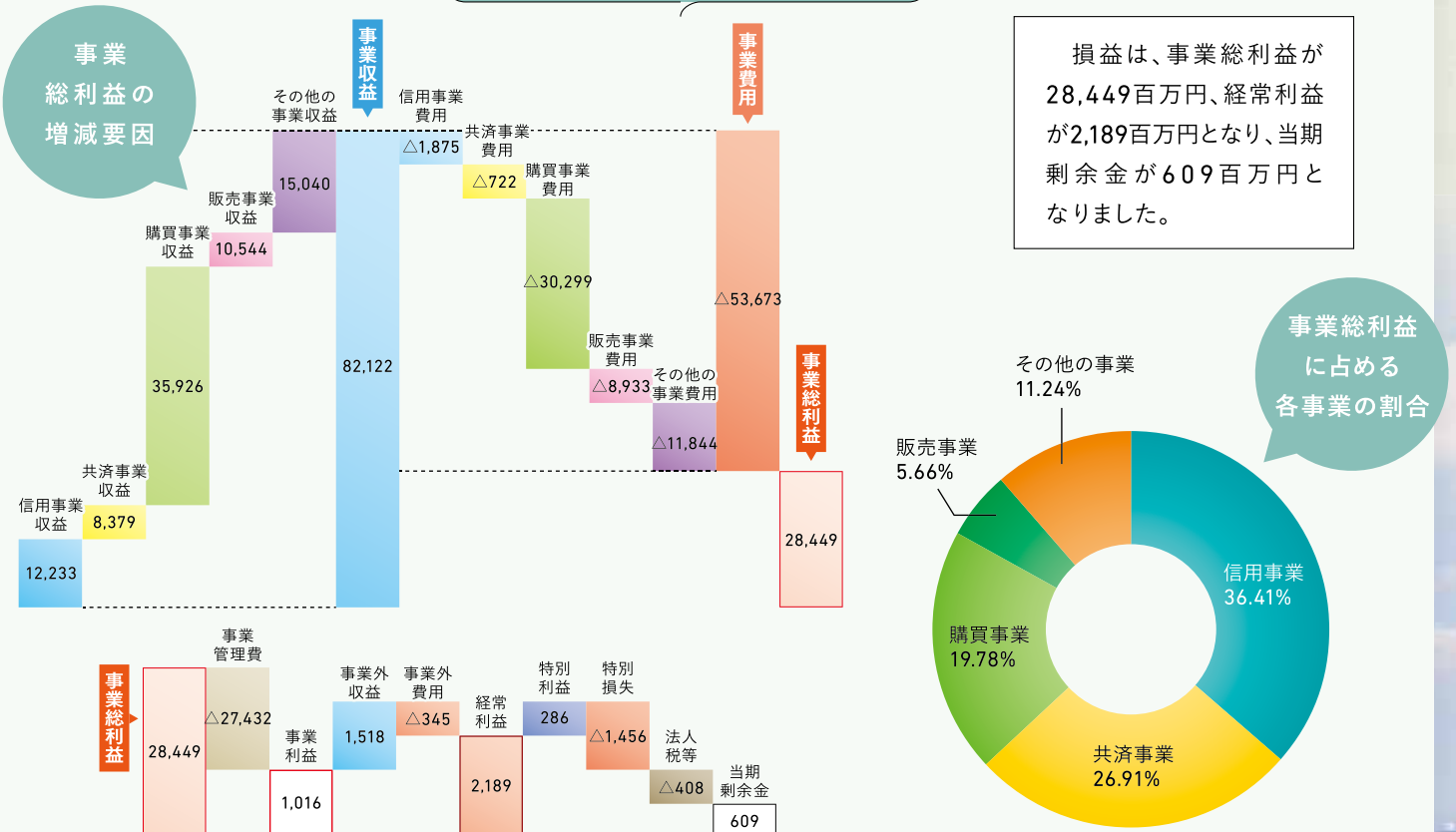
「健全な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。農協法の理事構成要件の改正もふまえ、業務執行体制を見直し、地域農業の担い手や実践的な能力を有する者の登用拡大に向けて取り組みます。自ら策定した自己改革の取組施策を着実に実践するため、組合員の皆さまとの対話を重視し、組織を挙げて取り組みます。

1

営業に関する
ご報告



損益の状況（平成29年度）



2

事業別業況
(平成29年度)

農業関連事業

購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬・飼料の銘柄集約による値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は12,853百万円となりました。



販売事業

米の買取制度を29年産米も継続実施し、また畜産等の品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は38,129百万円となりました。

生活関連事業

購買事業(生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、県下統一企画による自動車・ガス・石油事業の各種セールを展開した結果、生活購買品供給高は21,162百万円となりました。



共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまね こども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,541,460百万円、年金共済保有高が20,802百万円となりました。



信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高984,693百万円、貸出金が期末残高299,671百万円となりました。



農業振興支援事業での持続的営農への支援

3

農業振興活動



平成29年度は、4億円の予算化を行い担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、島根県農業の基幹である和牛子牛の増頭対策では、繁殖母牛の導入において199頭の増頭支援、デラウェアでは優良系統への改植による持続的産地への支援、担い手の複合型営農形態の促進に向けた園芸品目の普及対策を実施しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

4

子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力サポートしています。住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金をご用意しています。

地域密着型
金融への
取り組み



2018 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JAしまね

PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	島根県松江市殿町19-1
出資金	226億円
総資産	1兆926億円
単体自己資本比率	14.93%
組合員数	231,666人
役員数	73人
職員数	3,609人
事務所数	201



タテのカギ

- ①馬に乗る人のこと
- ③マガモを改良して作られました
- ⑤お金を借りると付くことも
- ⑥日本海軍が造った世界最大の戦艦
- ⑦軍配を持って土俵に上がりませす
- ⑨神社で神事に奉仕する女性
- ⑪泡立ててメレンゲを作ります
- ⑬田畑を耕す道具の一つ
- ⑮首都はハノイ。米の生産が盛んな国です
- ⑰——あれば憂いなし
- ⑲野球でランナーが滑り込む所
- ⑳カトリックでは神父、プロテスタントなら
- ㉑リレーの選手がつかなく物

ヨコのカギ

- ①ギーッチョンと鳴く秋の虫
- ②図書館で専門的な仕事をします
- ③海に潜って貝などをとる職業
- ④目のこと。つぶらな——
- ⑥ゆらゆらとバランスを取る玩具。長い腕を持つ人の形をしています
- ⑧子(ね)と寅(とら)の間
- ⑩警察官や消防士、裁判官はこれ
- ⑫黄門様のお膝元です
- ⑭決まった時間に寝起きする、——正しい生活
- ⑯渦巻き模様が付けられた練り物
- ⑱二十世紀、新高などの品種があります

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	7		13		20
2				14	17	
		8	11		18	
	6			15		
3			12			21
4		9		16	19	
		10				

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
平成30年10月5日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「コスモス」

ス	キ	マ	イ	ク
イ	ネ	カ	リ	モ
ツ		イ	ン	ロ
チ	カ		ギ	ト
	イ	シ	ヨ	ク
ネ	コ		ウ	ラ
ギ	ン	ザ		ゲ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步 JA島根厚生連

腸の調子を整える

いくつチェックが付きましたか？生活習慣をちよつと見直して健康な胃腸に近づきましょう。胃腸がすぐれない方は、改善できる方法をいくつかあげますので、参考にしてみて下さい。

1. **お腹を温める。**
湯たんぽ、ホッカイロ、蒸気が出る温熱シートなどでお腹を直接温める。
2. **しょうががくす湯**
お腹をこわした直後は、消化によく湯がおすすです。くずには整腸作用や体を温める作用があります。さらにしょうがを加えると温め効果倍増!!冷たい食べ物や飲み物で冷えきった体を、芯から温めてくれます。
3. **はちみつ緑茶**
はちみつと緑茶の意外な組み合わせ!!緑茶に含まれるタンニンには、便を硬くする働きがあります。そこへ整腸作用のあるはちみつを加えると下痢止めに効果的です。

- 食事時間が不規則
- 睡眠不足
- 夜食を摂る
- 運動習慣が無い
- 朝食を抜く
- ストレスが多い(多忙、人間関係の悩み、など)
- 野菜、果物をあまり摂らない
- 脂っこいものをよく食べる
- 喫煙習慣がある

☑生活習慣をチェック

今は「お腹に特に悩みは無い」という人も、以下の項目にチェックが多い場合は、要注意です。

- 排便の無い日が2日以上続くことがある。
- 排便時間にばらつきがある。
- 便がゆるいことが多い。
- 1回の排便量が少ない。
- 吹き出物が出たり、肌の調子がすぐれない。

☑快腸度チェック

厳しい暑さも終盤にさしかかり、そろそろ、食卓の上には色とりどりに溢れた食べ物や並ぶ季節になります。美味しいものは楽しみながらいただきたいですよね？暑さにへたれてしまった胃腸を元気にして、秋の味覚を楽しみましょう。

そこで、まずは、あなたの胃腸の調子をチェックしてみよう。チェックの付く項目が多い人は、腸の調子がすぐれない状態です。

平成30年度 地区別組合員大会



ご意見・ご質問にお答えします。

平成30年度の組合員大会は、7月2日から1ヶ月間、管内33会場にて実施しました。今年度の大会では、JAしまねの収益環境が今後大きく変化することを踏まえた「店舗再編」の取り組み計画を説明しました。また、事前質問を広く募集したことで、例年よりも多くのご意見や要望を伺うことができました。この大会のなかで、組合員の皆様よりいただいたご意見・要望のうち、特に複数回意見をいただいた内容についてご紹介します。

営農部門

Q 米の買取制度の成果はどうだったのか。

A 平成28年産から始まった買取制度は、平成29年に見直しを行い、出荷時に仮単価としてお支払いし、12月に追加確定金を支払う2段階方式での支払方法となりました。買取制度の成果としては、2年掛かっていた米代金のお支払いが、当年で完了することです。集荷数量も前年比104.3%となり、経営計画が立てやすくなったなど評価をいただきました。しかし反面、買取制度の内容が分かりにくい、商系業者は買取価格より高い価格で集荷するなどのご意見も伺っております。

こうした課題を整理し、平成30年産以降、より組合員メリットを発揮できる制度に修正して参りますので、引き続き1袋でも多くJAに出荷いただきますようお願いいたします。

Q GAP（ギャップ）とは何か。

A GAP（生産工程管理）とは、生産履歴を含め、①「食の安全」②「労働安全」③「環境保全」④「経営管理」に係るリスクを軽減し、良い農業生産を実践することを目的としています。

島根県においては、島根県版GAP

「美味しまね認証」の取り組みが強化されており、出雲地区本部の生産部会では、青ネギ・菌床しいたけ・アスパラガス・鶏卵で「美味しまね認証」を取得しています。この他の生産部会においても、30年度中の認証取得を目指した取り組みに着手されています。

現在、多くの農畜産物において、安全性を高め、それを証明する手段として生産履歴を記載・提出いただいています。GAPの目的をご理解いただき、消費者に信頼される安全・安心な品目の提供を行います。

Q 農地の相続等がされていない所有者不明農地が増えていくようだが今後どのように対処していく考えか。

A 農地所有者の世代交代や集落外移住が進む中、農地所有権の所在が不明確となった場合、現状では非常に煩雑な手続きが必要のため、担い手に集積されていないのが実態です。現在、国の方で農地利用の促進に向けた法改正が進められており、島根県においては、中間管理機構を活用して以下のように考え方がまとめられています。①所有者不明農地であっても、知事の裁定を経て利用権の更新設定が可能であること。②所有者の同意なく貸付先を変更し担い手への集積化を進められること。この考え方に則り、JAとしても農業者の効率的かつ安定的な

経営、および地域農業の維持・発展に寄与して参りたいと考えています。

Q 自己改革について 農業振興支援事業として農業生産額の拡大とあるが、どういった取り組みがあるのか。

A JAしまね全体として「JAしまね農業振興支援事業」を、さらに出雲地区本部として出雲市と連携し「出雲農業未来の懸け橋事業」を実施しています。意欲ある農業者への支援や新たな農業モデルを構築し、出雲地区本部では、販売高100億円を目指しています。具体的には、平成30年度稼働開始予定の野菜栽培施設の建設や、平成31年度予定のいちじくのリース団地、しいたけリースハウスの実現に向けて取り組んで参ります。

Q 新聞報道で野菜栽培施設が取り上げられていたが、どのような施設なのか詳しく知りたい。

A 本施設は、新たな農業形態の1つのモデル実証圃です。昨今、異常気象が多発する中、本施設のような農業スタイルは必ず必要となり、ICT（情報通信技術）による農業の变化にも対応しなければなりません。JAが主導となりモデル実証していくことが、若い農業者、担い手そして新たな雇用の創出となり地域活性化にもつながります。また、本施設は周年安定

生産・出荷が可能となり、JAとして新たな販売チャネルを確保し、既存品目の単価向上も図っていきます。施設については、GAP取得も視野に入れ整備しますので、栽培研修・GAP研修の場としても幅広く活用していただきます。

Q 概況DVDで紹介があったぶどうの新品種「神紅（しんく）」は、すぐ市場に出るのか。

A 「神紅」は、シャインマスカットの赤系を目指し、島根県で育成された新品種で、皮も一緒に食べられる甘味の強いぶどうです。

現在、県内1.4ha（うち出雲34a）の生産圃場にて試験的な栽培がはじまったところで、収穫開始は再来年を予定しています。その後、市場・関係機関での求評会を踏まえ今後の栽培計画が決定されますので、物量が確保され一般市場等に流通するには、もう少しばらくお待ちいただくこととなります。

生活部門

Q 大型店の出店が進んでいるが、ラピタとしての対応はどうか。

A 今後市場環境は厳しくなりませんが、ラピタでは直売コーナーを中心とした地元産材を拡充させます。また、生鮮品を中心に更なる鮮度

強化に取り組み、安全・安心・新鮮な商品の提供を行い、「JAらしい店舗」展開を図り、組合員の皆様から支持される店舗作りを行います。

金融部門

Q 年金受給者の歌謡コンサートがなくなったのはなぜか。歌謡コンサートを継続して欲しかったが、なぜ変わったのか。

A 出雲地区本部で年金受給されている方は約2万4千名です。昨年のコンサートは大変好評で、ご来場いただいた方は5千名に迫る程でした。その一方で、席数の都合でお断りした方も多くいらっしゃいました。このため、今年は全ての受給者の方々にご参加いただける抽選会を企画しました。

コンサートは多額の経費が必要のため、次年度以降の実施内容はまだ未定です。今後、皆さまのご意見も参考に、検討を行う予定です。

企画総務部門

Q 現在ある28金融店舗体制を将来17金融店舗体制に移行する構想と聞いた。店舗再編は、スピード感をもって取り組まなければならないのではないか。

A 店舗再編については、検討委員会を立ち上げて主に金融収支の面から議論を重ねました。まずはステップ1として、自治単位が同じ3地区（出雲・今市支店、塩冶・有原支店、荒茅・園支店）の店舗を再編することから始めます。その後については、ステップ1での影響度合いや収支の実情を踏まえ、地元の理解を得ながら再編を進めていく考えです。

Q 先般のJAしまね通常総代会の新聞報道では、JAの運営体制改革が載っていた。具体的にはどのようなことか。

A JAしまねでは、厳しさを増す諸情勢のなかで、事業計画の実践を通じて、組合員の負託に応えられるよう取り組むこととしています。そのなかで、理事会運営や役員体制をはじめとする運営体制改革に取り組み、総合的な改革を進めることとしました。具体的には、①常勤理事33名は「半減」を目安に見直す。②非常勤理事32名は「必要最小限」に見直す。③地区本部運営委員会の再構築と強化。④監事定数を「必要最小限」に見直す。⑤次期運営体制の整備となっています。この具体的な内容については、11月に開催される臨時総代会にて決議し、平成31年6月の役員改選から新体制のスタートを目指しています。

9月

「神門梨」

安全・安心届けます
出雲で採れるうまいもん

J Aしまね神門梨部会

今月はJ Aしまね神門梨部会の取り組みについてご紹介いたします。

J Aしまね神門梨部会では、平成30年度は8戸、約4・4ヘクタールで「幸水」「豊水」などの赤梨を中心に栽培しています。

出荷期には部会員が集まって糖度検査を行い、目合わせをするなど、品質管理を徹底。多くの方においしい梨をお届けできるよう努めています。

販売の主力はオーナー制度による契約販売で、収穫の体験ができることも、採りたての梨が味わえると人気です。今年も3月から受付け(5月末まで5%割引)、多くの方にお申し込みいただいています。8月の「幸水」から始まり、現在「豊水」「二十世紀」などが収穫時期を迎えています。



ています。

また、収穫体験の場を設けたり、毎年市内の園児を招いて授粉や収穫の作業を体験してもらったりなど、地区特産の神門梨を積極的にPRしています。



ケーブルテレビで放送!

9月のテレビ番組「JAいずもびより」に、神門梨部会部の小村靖部会長、るみさんご夫婦にご登場いただきます。

小村さんは平成13年から神門梨を栽培し、現在3.2ヘクタールで「幸水」「豊水」「ゴールド二十世紀」「あたご」など約30種類を栽培されています。

小村部会長から一言

今年は高温の影響で小玉傾向で、雹の被害で傷がついたものもありますが、糖度は高く、例年以上に甘くておいしいと感じています。ぜひ食べてみてください。



放送日

出雲ケーブルビジョン (icv)

18日、25日 (火) 午後5時～

「出雲キャッチアイ」内 (再放送・編集編有)

雲州わがとこテレビ (ひらたCATV)

29日、30日、10月1日の番組内で視聴者プレゼントは「神門梨」です! ぜひご視聴くださいませ!

梨の栄養

梨は90%近くが水分ですが、カリウムやアスパラギン酸を含んでいて、解熱や疲労回復に良いとされています。カリウムが利尿効果を発揮し、火照った体を冷まして熱を下げてくれるほか、梨に含まれる糖アルコールの一種であるソルビトールという成分にも咳止めや解熱効果があるとされています。さらに、カリウムは体内に蓄積されたナトリウムを体外に出す働きがあるため、高血圧を予防する働きも期待できます。また、梨にはタンパク質を分解する消化酵素のプロテアーゼが含まれています。調理に使えば肉を柔らかくする事ができるだけでなく、食後のデザートに梨を食べる事で消化を助けてくれます。

一般的に皮を剥いで食べる事が多い梨ですが、皮の部分にも栄養が詰まっています。ぜひ皮ごと食べて栄養成分を逃さないように摂取しましょう。

梨の栽培

梨の栽培は、1〜2月の剪定から始まり、4月から授粉作業が始まります。手作業でひとつひとつ花粉付けするため、根気がいりますが、実をつけるための大切な作業です。5月になると摘果作業を行います。授粉した花は実をつけますが、梨を大きくさせるには数を減らさなければいけません。一枝に5〜7個ついている実の中から、大きくて形の良いものを1つ選んで残します。その後、病害虫対策をしながら7、8月には玉太りを良くするため、水かけを入念に行うなど、徹底した栽培管理のもと、安全安心でおいしい梨が作られています。

生産者が心を込めて栽培した、大きくて美味しい神門地区の梨をぜひ「賞味トヤヒ」。

神門梨の美味しいレシピ

梨の白和え



〈材料〉[2人分]

- 梨 …………… 1/4個
- にんじん …………… 15g
- きくらげ …………… 1枚分
- 木綿豆腐 …………… 50g
- 白すりごま …………… 大さじ1/2
- 砂糖 …………… 小さじ1/2
- 味噌 …………… 5g

〈作り方〉

- ①豆腐は水きりをする。
- ②きくらげを水で戻して千切りにする。
- ③梨は3等分にして薄いいちょう切りにする。
- ④にんじんを千切りにしてサツと茹でる。
- ⑤ボウルにすりごま、砂糖、味噌、豆腐を入れ、良く混ぜる。
- ⑥きくらげ、梨、にんじんを⑤に入れ、和えたら完成!

梨の豚肉巻き〜トマトソースがけ〜



〈材料〉[3〜4人分]

- 梨 …………… 1個
- 豚肉スライス …………… 250g
- 塩コショウ …………… 少々
- 片栗粉 …………… 適量
- オリーブオイル …………… 小さじ1
- トマトソース
- 玉ねぎ …………… 1/2個
- オリーブオイル …………… 大さじ1
- トマト …………… 大1個
- 砂糖 …………… 大さじ1
- ケチャップ …………… 大さじ1
- 塩コショウ …………… 少々
- ドライバジル …………… 少々
- チリパウダー …………… 少々

〈作り方〉

- ①小鍋にオリーブオイルを入れ、玉ねぎのみじん切りをしんなりするまで炒める。
- ②ぶつ切りにしたトマトを入れ、炒める。
- ③砂糖、トマトケチャップ、塩コショウ、ドライバジル、チリパウダーを入れ、中火で煮る。
- ④焦げないように混ぜながら煮て、とろみがつけばソースの完成。
- ⑤梨を16等分くらいの薄さに切り、豚肉で巻く。
- ⑥塩コショウを両面に振り、茶こしを使い片栗粉をふる。
- ⑦フライパンにオリーブオイルを熱し、⑥を両面と底面がこんがりするまで焼く。
- ⑧皿に取り出しトマトソースをかければ完成!

ほっとで楽しいニュースが満載!

多伎いちじく出発式 甘いいちじくを出荷

多伎いちじく生産部会は8月23日、多伎農産物集荷所で平成30年産の出発式を開きました。生産者、行政、JA関係者ら約40人が出席。販売方針を確認し、約1,800パック(約540キロ)を島根・鳥取の計7市場に出荷しました。

同町の特産「多伎いちじく」の品種は、強い甘みが特徴の「蓬莱柿」。部会員90人が16・4ヘクタール(うちハウス1.2ヘクタール)で栽培しています。今年産のいちじくは6月下旬以降の高温、少雨により小玉傾向が懸念されていますが、糖度は高く、甘いいちじくが出荷されています。出荷計画は生果65トン、加工用70トン。今後山陽、大阪、東京の各市場へも出荷し、販売高は7,800万円を計画しています。

式では地元の「いさり火太鼓同好会」が力強い演奏を披露したほか、「多伎いちじく」のマスコットキャラクター「ほーらいちゃん」も登場し、出発式に花を添えました。立脇渉部会長は「安全・安心な甘いいちじくをお届けできるよう頑張っている。ぜひ食べていただきたい」と呼びかけました。



いさり火太鼓同好会の演奏で開式



テープカットをする関係者ら

シャインマスカットでデザート ぶどうファミリー料理教室開催

JAしまね出雲ぶどう部会女性部は8月18日、ラピタ2階の「ふれあいの家出雲 縁」でぶどうファミリー料理教室を開催しました。ぶどうの消費拡大、地産地消の推進を目的としたもので、親子14組が料理、デザート作りを楽しみ、夏休みの良い思い出をつくりました。

使用したブドウは大粒系の主力品種「シャインマスカット」と食味の良い赤系品種「クイーンニーナ」。収穫最盛期を迎えたシャインマスカットを、贈答用だけでなく家庭でも食べてもらいたいと昨年企画し、今回が2回目です。

当日は地元の洋菓子店「恵季」の井上知之さんからブドウを使ったタルトとパンナコッタ、管理栄養士の山本知子さんから出雲の農産物を使ったカレーおにぎりとモロヘイヤのスープの作り方を教わりました。参加した親子らは「楽しく料理ができた」「ブドウを作っているが、デザートにする食べ方は参考になった」と感想を話しました。

同女性部の藤江美由紀部長は「特産のブドウを楽しくPRできる機会。毎年のイベントとして定着させたい」と話しました。



デザートの飾り付けを教える井上さん



地元特産を使った豪華な料理が完成

全自動ドローンの実演会 最先端技術を確認

JAしまね出雲地区本部と(有)JAいずも農機サービスは8月28日、佐田スポーツセンターと湖遊館で全自動ドローンの実演会を開きました。全自動ドローンは手動より必要人員が少なく、操縦技術がない初心者でも上級者と同じクオリティで作業を行うことができます。作業の省力化に向け、管内の農業法人、生産者らが最先端の技術を確認しました。

実演したのはXAIRCRAFT JAPAN(エックスエアクラフト・ジャパン)(株)が販売している「P20」。RTKの搭載で精度の高い測位ができ、範囲を設定すれば離陸から農薬散布、着陸まで完全自動で行います。1回の充電で約15分稼動(約15ヘクタールに散布)。飛行速度に合わせて自動的に噴射量を調節します。10センチ以下の垂直精度で地形に沿った航行が可能になりました。

同社の住田靖浩営業部長は「少しでも農薬の使用量を減らす精密農業を目指している。作業者が農業に触れる危険が少なくなるよう、安全にも配慮した」と話しました。

見学に訪れたJAいずもアグリ開発(株)取締役の吉井昌彦さんは「中後期除草に苦勞している。ドローンが活用できるようになれば」と今後を期待しました。



ドローンの実演を見学する生産者ら

出雲コーチン利用促進協議会 定期総会開催

出雲コーチン利用促進協議会は7月31日、畜産技術センターで定期総会を開きました。平成29年度の事業報告、平成30年度の事業計画など5議案が承認され、総会後は鳥根県立出雲農林高校の生徒が活動報告を行ったほか、「出雲コーチン」を活用した地鶏の食味調査の結果が報告されました。

同協議会は昨年6月、地鶏「出雲コーチン」の保存とブランド化を目的に、J A、行政機関、出雲農林高校、畜産農家らで設立しました。飼育羽数の拡大に努め、設立時の103羽から年度末には約200羽まで増羽。2種類の交配鶏の作出も行い、試食会や食味調査も実施しました。

平成30年度は、「出雲コーチン」と交配させる鶏を決定し、商品化に取り組むことを申し合わせました。また、飼育規程を作成し、飼養者の範囲を広げて（ペット用限定）リスク分散を行います。

同協議会の吉田博幸会長（J Aしまね出雲地区本部副本部長）は「商業ベースにのせるためには、スケジュール感を持っていろいろな取り組みをしていかなければならない」と話しました。



活動報告を行う出雲農林高校の生徒

J A出雲地区本部管内で米検査を開始 ハナエチゼンが好スタート

J Aしまね出雲地区本部管内の平成30年産米の初検査が8月21日、平田中央倉庫で行われました。当日は6戸から集荷したフレコン14本、紙袋309袋を検査しました。

初検査には検査員、生産者、J A関係者ら約20人が参加。早生の「ハナエチゼン」を中心に検査をしました。

今年は高温、少雨により品質低下が心配されていますが、心白粒が若干みられるものの、色・つや・粒張りはよく、「ハナエチゼン」はすべて一等米となりました。

同地区本部の平成30年産米の集荷は6,750トンを計画しています。一等米比率が高い「きぬむすめ」を主力品種とし、面積拡大を進めるほか、平成29年産米の食味ランキング（日本穀物検定協会）で「特A」を獲得した県産「つや姫」のブランド化にも力を入れています。



平成30年産米の初検査を行う検査員

J Aしまね神門梨部会 販売開始を前に糖度検査

J Aしまね神門梨部会は8月4日、J Aしまね神戸川支店で神門梨「幸水」の糖度検査を行いました。生産者5人が計10個の梨を持ち寄り、重量、横径、糖度を測定しました。

平成30年産は、7月上旬からの好天続きで水分量が不足し小玉傾向ですが、生育は早く、糖度も高い数値を示しました。小村靖部会長は「11日からオーナー制による契約販売が順次始まるが、生育が早いので序盤から甘い梨を提供できる」と話しました。

当日は東部農林振興センターの渡利亮司主任技師、農業技術センターの三島晶太研究員も参加しました。今年の病害虫の発生状況や果実肥大の状況を伝え、対応策について情報を共有。土壌が乾いているため、灌水をしっかりと行うよう呼びかけました。

平成30年度産の神門梨は部会員8戸が4.4ヘクタール（うち幸水2.5ヘクタール）で栽培。販売金額は1,000万円を目指しています。



糖度を計測する小村部会長(左)

家の光活用で活動をさらに楽しく J Aしまね出雲女性部

J Aしまね出雲女性部は8月9日、J Aしまね出雲地区本部で「家の光活用研修会」を開きました。記事活用の方法を学び、女性部活動をさらに充実させようと毎年開催しています。同女性部各支部から約90人が参加しました。

研修会では、（一社）家の光協会中国四国普及文化局の秋谷進局次長が家の光の活用方法について講演。7月号に掲載した全国の女性部の活動事例や、防災特集など役立つ情報を紹介しました。

また、同号で紹介した「アウトドアコードで作る防災ブレスレッド」を参加者全員で制作。解くと丈夫な紐になり災害時に活用できるほか、留め具がホイッスルになっています。

秋谷局次長は「家の光が女性部の皆さんにとって新たな活動に向かうためのトビラになれば嬉しい」と話しました。



制作したブレスレッドを掲げる女性部員

中部ブロック「こどもクラブ」 親子クッキング開催

J Aしまね出雲地区本部中部ブロックは8月19日、ラピタ本店内にある「ふれあいの家出雲 縁」で親子クッキングを開催しました。四絡会場の開催で、親子約100人がうどん作りに挑戦しました。

福島隆校長（JA出雲地区本部理事）のあいさつの後、6班に分かれてうどん作りを開始。中部営農センターの井上博行係長が作り方を説明し、各班で作業を進めました。試食時にはスイカを使ったフルーツポンチやスムージーも用意。参加した児童は「おいしかった」「うどんを切るのが大変だった」などと感想を話しました。

当日は、うどんの生地を寝かせる時間を活用してジャガイモの植え方を説明し、種芋や肥料などの資材を配りました。今後児童たちは講座の一環として、家で「土のう袋」を使ったジャガイモの栽培に取り組みます。



うどんの生地を延ばす児童

鳶巣地区「ゆめひろば」に 女性部員が協力 地域の小学生が参加

鳶巣コミュニティセンターで8月23日、「鳶巣放課後子ども教室 ゆめひろば」の料理教室が開かれ、地域の小学生18人が参加しました。

J Aしまね出雲女性部鳶巣地区の料理グループ「つばきの会」のメンバーとJA生活指導員が講師を務め、家の光のレシピを活用したコロッケや、給食で人気のサラダなど4品を作りました。

この教室は、地域の小学生を対象に開催しているもので、年間を通していろいろな体験活動に取り組んでいます。この度の料理教室は、夏休みの活動の一環で開かれました。

つばきの会代表の福島八重子さんは「4年生以上の参加で、みんな自分たちの力で上手にやってくれました。仲良く活動ができてよかったです」と話しました。



手際よく料理をする児童たち

平成30年産米 稲刈り始まる

J Aしまね出雲地区本部管内で平成30年産米の稲刈りが始まりました。8月9日には、管内でいち早く伊野地区で稲刈りが行われ、黄金色に実った稲穂がコンバインに次々と刈り取られていきました。

この日稲刈りをしたのは伊野地区で30ヘクタールの田んぼを管理する常松勝広さん。4月15日に植えたハナエチゼンを収穫しました。後継者の常松守男さんは「今年は雨が少なく心配しましたが、遅くまで灌水するなど対策し、今年も大体平年並みの時期に収穫することができました」と話しました。



管内で稲刈り始まる

山陰ブロック TACパワーアップ大会

J Aしまねは8月21日、ラピタウェディングパレスで「平成30年度山陰ブロックTACパワーアップ大会～TAC活動発表大会～」を開催しました。大会には各地区本部長や県連役員などを含む約90人が出席。生産振興支援に向けての取り組みについて、各地区本部と、地域農業の担い手に向くJA担当者（愛称TAC=タック）25人が日頃の活動を発表しました。

出雲地区本部は、景山敦TACが特別賞を受賞。地域から活用方法について相談を受けていた農地を新規就農希望者に提案し、農地確保を支援した事例を紹介しました。

受賞者は次の通りです。

▽最優秀賞 片寄俊一（くにびき）▽優秀賞 石川敏子（島根おおち）▽特別賞 山田光俊（雲南）、原悠人（斐川）、渡部直樹（くにびき）、景山敦（出雲）、新田大治（雲南）



表彰状を掲げる7人の受賞者

自転車巡回で一等米比率向上 グリーンファーム西代

農事組合法人「グリーンファーム西代」は8月18日、8月下旬に収穫予定のコシヒカリの圃場巡回を行いました。自転車で圃場を巡回し、刈り取り適期を確認する恒例の行事。法人の構成員、JAしまね出雲地区本部担当者ら15人が参加しました。

自転車圃場巡回が始まったのは平成16年。当時のJA担当者圃場を見て回った際にすぐに刈り取るよう指導を受け、まだ早いと思いつつも収穫したところ、検査で好成绩を収めました。同法人の三代幾夫代表理事は「適期収穫を意識するきっかけになった」と当時のことを話します。それ以来、出穂前と収穫前の巡回は年中行事となっています。

同法人は平成15年に設立。21ヘクタールで水稲作付けを行っています。コシヒカリ、きぬむすめを中心に栽培し、昨年、一昨年と続いて両品種で一等米比率100%を達成しました。三代代表理事は「栽培管理を徹底し、100%を維持していかなければならない」と意気込みを話しました。



自転車で圃場を巡回する生産者ら

JAしまね出雲女性部高松支部 女性のつどい開催

JAしまね出雲女性部高松支部は8月24日、JA高松支店で第22回の女性のつどいを開催しました。同支部の銭太鼓サークルの発表では、「炭坑節」「どんぼん節」の歌に合わせて銭太鼓と踊りを披露。全員がひよっとこの面を被って登場するサプライズもあり、会場は驚きと笑いの渦に包まれました。また、女性部塩冶支部の「えんまん座」の公演もあり、観客も巻き込む演出の数々に、会場は一体となって盛り上がりました。

会場ではみどりのカーテン活動により収穫したゴーヤなどの料理も振舞われました。高松支部の森山ひとみ副支部長は「統一行動で行ったみどりのカーテンも、皆様のおかげで立派に成長しました。今後も女性部運動会、ハム作りなどさまざまな活動を予定していますのでぜひ参加してください」と呼びかけました。



ひよっとこのお面で踊る銭太鼓サークルの皆さん

第8回 全国高校生 そば打ち選手権大会

今年も出雲農林高等学校の生徒が出場!



大会に向けて練習



島根県立出雲農林高校の生徒が8月20日、東京都立産業貿易センター台東館で開かれた「第8回 全国高校生そば打ち選手権大会」団体の部に出場しました。

出場したのは食品科学科の2年生6人(競技者4人、補助2人)。キャプテンの八幡寿梨さんが、昨年出場した先輩のそば打ちに感銘を受け、「自分もやってみたい」と仲間を集めました。課題研究の一環で2年間を通して取り組みます。

生徒全員そば打ちの経験はありませんでしたが、JAしまね出雲地区本部総合指導課の矢田満課長、阿式秀典係長を講師に、5月中旬から練習を重ねてきました。8月8日には出雲市役所を訪問し、大会出場を報告。藤河正英副市長や出雲食戦略会議の田邊達也議長らを前にそば打ちを実演し、練習の成果を披露しました。

大会で入賞することはできませんでしたが、「そばどころ 出雲」を全国にPRしようと気持ちを込めて精一杯そばを打ちました。来年も同じメンバーで大会に出場する予定で、今年の経験を生かし、より一層の活躍が期待されます。



藤河副市長が「出雲の食の魅力を発信してもらいたい」と激励



出雲市上島町
かもと かつみ 嘉本 克美さん (72歳)
やすこ 保子さん (69歳)



上島町で農業を営む嘉本さんご夫婦。「神在ねぎ」「ふゆわらべ」などの根深ネギを8アール栽培するほか、水稻栽培もしています。所有する田んぼのうち34アールは営農組合の管理とされていますが、22アールは個人で栽培しています。克美さんは「両親が田んぼをしていたころの機械があり、有効活用するためにも頑張っています」と話します。

克美さんは、以前は長くJA総代を務め、今も支店運営委員としてJA運営に関わってくださっています。本格的に農業を始めたのは、お仕事が定年を迎えた約7年前。その後、保子さんが参加していた「いずもJA女子大学」の講座で圃場見学の講座があり、そこで興味を持ったのがきっかけで「神在ねぎ」の栽培を始めました。保子さんは「女子大学はとても楽しく、皆勤で卒業しました。参加してみないと分からない良さがありました」と当時のことを話してくださいました。

「今までの農業経験が少ないので、JAの指導を頼りにやっています」と話すお二人。ラピタ農産物直売会の会員でもあり、講習会にはいつも出席し、技術向上に努めています。

健康の秘訣を尋ねると「畑、田んぼでほどほどに身体を動かすことです」と口をそろえて話す、ますます元気なお二人です。



唐川町にお住まいの荒木紫穂さんは、市内の病院で助産師として働いています。

中学生のときにお母さんを亡くされた紫穂さん。悲しみの中にいたとき、性教育の出張講座で学校を訪れたのが助産師の方でした。命の大切さを伝えるその授業に影響を受けて助産師を志し、高校、大学と同じ目標に向かって歩んできました。

夢を叶え、今の仕事に就いたのが今年の4月。現在、産前産後のお母さんや赤ちゃんのケア・サポートをするほか、妊婦の方の検査などにも携わっています。日々いろいろなケースに直面する中で、常に緊張感と責任感を持って仕事に臨んでいます。仕事のやりがいを尋ねると「出産し、退院されるお母さん方に“おめでとうございます”と言えるときが嬉しいです」と話してくださいました。

今後は、出産で赤ちゃんを取り上げるなど仕事の幅も広がってきます。「安全を心がけ、不安に思っておられるお母さんやご家族の方を安心させてあげられる助産師になりたいです」と笑顔で話す紫穂さんです。

出雲市唐川町

荒木

紫穂さん (23歳)



8月講座「親子でトマトジャム作り」

JALまね出雲地区本部は8月8日、いずもJA女子大学の8月講座「おひさま、トマトにありがとう 親子でトマトジャム作り」を開きました。JALまね出雲女性部の錦織文子副部长らを講師に招き、女子大学生15人と子ども11人がトマトジャムを作りました。

使ったのは「しゅほう」という品種の加工用トマト。中部女性部で栽培したものです。錦織副部长は、果肉が多く水分が少ないトマトで加工に適していることや、ぼかし肥料を使って無農薬で栽培されていることを説明しました。

その後2家族ずつで組になり、調理開始。皮をむいて煮詰め、各家庭200グラムのトマトジャムを完成させました。子どもたちは皮をむいて切る作業を一緒に行っ

たほか、ジャムの瓶に貼るシール作りなども行い、親子で楽しい夏休みの思い出ができました。

参加した女子大学生は「トマトジャムと聞いて味が想像できなかったけれど、とてもおいしくてびっくりした」「親子で活動できてよかった」「家でもチャレンジしてみたい」と感想を話しました。



わが家の
アイドル
わが家自慢の
アイドルをご紹介します!



ふじた きな
藤田 暉奈ちゃん(4歳・右)
まよ
麻誉ちゃん(2歳・左)

出雲市西園町

保育園に通う暉奈ちゃん、麻誉ちゃん姉妹。暉奈ちゃんは体を動かすのが好きで、外で虫捕りをして遊んでいます。なわとびも上手です。遊んでいるおもちゃを麻誉ちゃんがほしがると、ゆずってあげるやさしいお姉ちゃん。おばけが苦手という、ちょっと怖がりな一面もあります。何ごとも恐れず向かっていくのが妹の麻誉ちゃん。ご飯を食べるのが大好きな女の子です。家で育てているトマトやきゅうりなど、野菜もしっかり食べます。11月には弟か妹が誕生する予定で、「だっこしてあげたい」と早くもはりきっている麻誉ちゃんです。

おとうさん、おかあさんからの一言

11月、家族が増えるのをみんなで楽しみにしています。生まれてくる子と3人仲良く、のびのびと大きくなってね。

J Aしまね出雲女性部
四絡支部「四絡女性部カラオケクラブ」
グループ紹介

四絡支部「四絡女性部カラオケクラブ」

代表 高橋 美代子 さん

J Aしまね出雲女性部四絡支部「四絡女性部カラオケクラブ」は月2回水曜日、J A四絡支店に集まり、カラオケの練習をしています。メンバーは現在16人。約35年前、レコードの時代から続く、歴史のあるグループです。

講師は、市内で民謡や歌謡の指導をしている柳楽忠男先生。歌いやすい演歌を中心にメンバー皆で声を合わせて練習し、2ヶ月に1曲ずつ新しい歌に挑戦しています。譜面を確認しながら、感情を込めて歌うことを大切にしています。

忘年会では皆でカラオケボックスに出かけ、それぞれが好きな歌を歌って日頃の練習の成果を披露し合います。楽しく活動することが長く続く秘訣です。

このほか、毎年10月には四絡地区の文化祭・農業祭に参加し、衣装をそろ

高橋代表の一言

私たち「四絡女性部カラオケクラブ」は、35年間続いているグループです。講師の先生の指導のもと新しい曲に挑戦し、脳の活性化を図るとともに、声を出すことで日頃のストレス解消にもなっています。今後もみんなで楽しく続けていきたいと思っています。新規の方の入会もお待ちしております。



えて発表しています。J A本店で行われる農業祭りや、J A女性部まつりで舞台発表をしたこともあります。

四絡支店 黒目ブロック長からのメッセージ

「カラオケクラブ」の皆さんは、毎月2回、四絡支店の和室で楽しく和気あいあいと活動されています。活動の夜は、賑やかで楽しい歌声が聞こえてきます。地域のイベントにも積極的に参加され、地域の活性化にも一役買っておられます。これからも40年50年とこの活動が続き、そして皆さんが益々お元気にご活躍されますことを祈念いたします。

読者のページ
おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集！！

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。八ガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。
(匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
✉メールでの投稿も大歓迎!
unity@jaizumo.or.jp

した。本誌裏表紙に野々村先生の表紙絵原画展のご案内も掲載しておりますので、ぜひご覧くださいませ。

●ますます元気のコーナーが楽しみです。熟年夫婦が助け合って、支え合って、認め合って、愛し合ってこられた尊い歴史を感じます。

(大社町 T・Yさん)

●いろいろなお話が伺えるので、私にとっても楽しみなコーナーです。今につながるお二人の歴史を教えてくださいたくのはとても勉強になります。

●JAの年金成約特典の肺がんCT検診を受けようか迷っていましたが、先月号の健康散歩のコーナーを見て、やはり受けようと決心しました。

(野郷町 K・Yさん)

●本誌の記事が後押しになったのでしたら嬉しく思います。「健康散歩」はクロスワードパズルの下が定位置ですので、今後ともよろしく願います。

●盆に孫たちが千葉から帰省しました。バーベキューでまい米牛を食べ、ご飯はぎぬむすめ、デザートはシャインマスカットですべて出雲産です。満足して帰りました。

(武志町 U・Mさん)

●いつも野々村先生のイラストにはしばらく見入ってしまいます。稲刈りをしているトラクターが今まさに動いているようで…。いろいろな場面を毎回楽しみにしています。

(美野町 M・Kさん)

●今月号のローソク岩と夕日も、吸い込まれるようで印象的

俳句の広場

選者
安食彰彦先生

月間最優秀賞

目に見えぬ風が風鈴鳴らしをり

稲岡町 小豆澤 典子

選者評

縁側のガラスを開けると稲田が見える。静かな昼下り。風もないのに風鈴が鳴っている。人一人見えない。

月間優秀賞

ふと覚めて寝相を正す熱帯夜

東園町 竹田 喜久子

子安地藏鳥のこぼせし実南天

下古志町 内田 芳子

何処やら夜のしじまの遠花火

大社町 祝部 富美子

あて先

〒693-8585 出雲市今市町106-11
JAしまね出雲地区本部「俳句の広場」係または
川柳の広場係 (FAX: 211-6249)
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。
※月間最優秀賞には、UFJニコス券3,000円分/月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。
※受賞作品については地区名、氏名(または雅号)を掲載します。

あなたの俳句・川柳を募集します

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、八ガキまたはFAXでご応募ください。
※10月号掲載分の川柳の応募メ切りは9月28日金必着です。
※11月号掲載分の俳句の応募メ切りは10月31日必着です。
※お一人様それぞれ3句までご応募いただけます。

出雲地区本部 JA給油所 定休日と営業時間のご案内

平素は、格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。
誠に勝手ながら、平成30年10月より**白枝SS**と**佐田SS**は**毎週日曜日を定休日**とさせていただきます。
お客様にはご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。



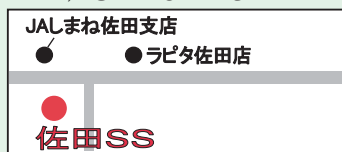
白枝SS

平日 / 7:30~19:00
祝日 / 9:00~18:30
定休日 / 日曜日
住所 / 出雲市高松町675-1
TEL / 28-0263



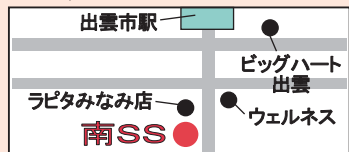
佐田SS

平日 / 7:00~18:30
祝日 / 8:30~18:00
定休日 / 日曜日
住所 / 出雲市佐田町反辺1589-1
TEL / 84-0413



セルフ 南SS

時間 / 7:00~20:00
住所 / 出雲市塩冶町990
TEL / 22-0373



セルフ 北部SS

時間 / 7:00~20:00
住所 / 出雲市高岡町614-1
TEL / 23-0740



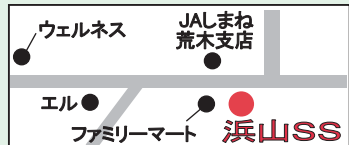
セルフ 平田SS

時間 / 7:00~20:00
住所 / 出雲市平田町2487-8
TEL / 62-1050



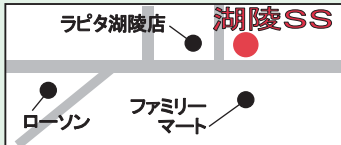
浜山SS

平日 / 7:30~19:00
日・祝 / 9:00~18:30
住所 / 出雲市大社町北荒木938-2
TEL / 53-4355



湖陵SS

平日 / 7:30~19:00
日・祝 / 9:00~18:30
住所 / 出雲市湖陵町差海710-2
TEL / 43-3476



多伎SS

平日 / 7:30~19:00
日・祝 / 9:00~18:30
住所 / 出雲市多伎町多岐474
TEL / 86-9100



毎月1日・15日

お客様感謝デー開催中!

JALまね出雲地区本部 石油課
TEL 28-1280

いそも
食材の日

ブロッコリーを使った料理教室

参加者募集の
お知らせ!

メニュー

- ◎ブロッコリーソースのパスタ
- ◎お肉とブロッコリーの中華炒め
- ◎ブロッコリーのごまあえ
- ◎ブロッコリーとしめじの絹ごしスープ

- 日 時 / 平成30年10月19日(金) 10:00~
- 会 場 / ラビタ2階 ふれあいの家出雲 縁
- 参加費 / 300円
- 定 員 / 12名(定員になり次第締め切ります)
- 持ち物 / エプロン・三角巾・マイ箸・持ち帰り用容器



●お申し込み先 / JALまね出雲地区本部 ふれあい福祉課 ☎21-6013

職員人事異動

平成30年9月1日付

経営機構順

氏名

新任

旧任

本店

坂根 裕司	本店販売戦略室	(企画総務部付 (南JAいずもアグリマート) 出向)
石飛 剛	本店経済部生活課	(生活部葬祭センター)
星野 淳司	本店金融部推進企画課	(河南ブロック神戸川支店金融係長)
勝田 智美	本店共済部自動車課	(金融共済部共済課)

営農部

神田 茂己	営農部営農企画課係長	(生活部葬祭センター係長)
周藤 智史	営農部営農企画課	(営農部総合指導課営農渉外員)
柳楽 郁代	営農部営農企画課営農事務センター	(東部営農センター)
廣戸 大訓	営農部販売開発課	(営農部営農企画課)
永井 裕二	営農部総合指導課営農渉外員	(南部営農センター 営農相談員)
渡部 優太	営農部総合指導課営農渉外員	(東部営農センター 営農相談員)
佐田尾 豊	営農部生産資材課長グリーンセンター出雲店長	(本店営農対策部営農指導企画課長)
岩崎 勉	営農部生産資材課長グリーンセンター出雲店長代理	(営農部生産資材課グリーンセンター 出雲店長代理)
森山 諒	営農部生産資材課	(河南ブロック湖陵支店金融相談員)

自動車燃料部

福田 直樹	自動車燃料部ガスセンター	(西部ブロック大社支店)
柿木 秀樹	自動車燃料部石油課チーフ	(自動車燃料部石油課)
中岡 淳	自動車燃料部石油課白枝給油所	(自動車燃料部石油課平田給油所)
嘉田 修司	自動車燃料部石油課北部給油所サブチーフ	(自動車燃料部石油課平田給油所)
神田 智	自動車燃料部石油課平田給油所	(自動車燃料部石油課北部給油所)
山根孝一郎	自動車燃料部石油課多伎給油所	(自動車燃料部石油課平田給油所)
今岡 千夏	自動車燃料部石油課浜山給油所サブチーフ	(自動車燃料部石油課浜山給油所)
高木 丈和	自動車燃料部石油課浜山給油所	(自動車燃料部石油課白枝給油所)

生活部

川上 弘信	生活部長兼ラビタ本店長	(生活部長兼ラビタ本店長兼ラビタ本店フレイル課長)
佐々木恵美香	生活部店舗企画課マネージャー	(生活部ラビタ本店食品日雜課マネージャー)

金融共済部

山崎 美貴	生活部ラビタ本店レジ課サブチーフ	(生活部ラビタひらた店サブチーフ)
足立 恵	生活部ラビタ本店レジ課	(生活部ラビタはまやま店)
神田真規子	生活部ラビタ本店食品日雜課チーフ	(生活部ラビタはまやま店チーフ)
土江 明大	生活部ラビタ本店食品日雜課チーフ	(生活部店舗企画課サブチーフ)
有富 良介	生活部ラビタ本店食品日雜課チーフ	(生活部ラビタ本店食品日雜課サブチーフ)
黒田麻梨子	生活部ラビタ本店食品日雜課サブチーフ	(生活部ラビタ本店レジ課サブチーフ)
中本 真樹	生活部ラビタ本店食品日雜課サブチーフ	(南JAいずもアグリマート)
松本 佳奈	生活部ラビタ本店食品日雜課	(生活部ラビタ本店レジ課)
澤村 真代	生活部ラビタ本店食品日雜課	(生活部ラビタ本店レジ課)
佐野 泰司	生活部ラビタ本店生花販売課チーフ	(生活部ラビタ佐田店チーフ)
石富 俊	生活部ラビタ本店生花販売課	(生活部ラビタ佐田店)
小池 修	生活部ラビタ本店生活用品課長兼衣料品課長	(生活部ラビタ本店生活用品課長)
原 万貴子	生活部ラビタ本店衣料品課長代理	(生活部ラビタ本店衣料品課チーフ)
藤本 健一	生活部ラビタ本店衣料品課チーフ	(企画総務部付 株式会社農協観光 出向)
山脇 孝司	生活部ラビタ本店生活用品課チーフ	(生活部ラビタ本店生活用品課サブチーフ)
今岡 則之	生活部ラビタ本店フレイル課係長	(生活部ラビタ本店フレイル課代理係長)
園山ゆかり	生活部ラビタ本店フレイル課長	(生活部ラビタ本店衣料品課長)
金本 和美	生活部ラビタはまやま店チーフ	(生活部ラビタひらた店チーフ)
伊藤 広幸	生活部ラビタはまやま店チーフ	(生活部ラビタひらた店チーフ)
山崎 伸人	生活部ラビタはまやま店	(生活部ラビタ大社支店)
青木めぐみ	生活部ラビタはまやま店	(生活部ラビタみなみ店)
帯刀 研介	生活部ラビタみなみ店サブチーフ	(生活部ラビタみなみ店)
大野摩利子	生活部ラビタみなみ店	(生活部ラビタ湖陵店チーフ)
森脇 誠二	生活部ラビタひらた店チーフ	(生活部ラビタ湖陵店チーフ)
長岡 恵子	生活部ラビタひらた店チーフ	(生活部ラビタ本店食品日雜課チーフ)
春日 知広	生活部ラビタ佐田店チーフ	(生活部ラビタはまやま店サブチーフ)
須田 祐治	生活部ラビタ湖陵店チーフ	(生活部ラビタ大社支店チーフ)
飯塚 令次	生活部ラビタ大社支店サブチーフ	(生活部ラビタはまやま店サブチーフ)
岡田 文夫	生活部ラビタ大社支店	(生活部ラビタ本店食品日雜課)
坂根 直子	金融共済部金融企画課チーフ兼年金専門員	(金融共済部金融企画課年金専門員)
増原 美幸	金融共済部融資審査課係長	(出雲支店融資課係長)
齋藤貴美江	金融共済部共済課	(本店共済部自動車課)
坂本 雅資	金融共済部共済課	(新規採用)
江角 謙	金融共済部共済課	(新規採用)

企画総務部		
福田 未花	企画総務部総務課	(企画総務部付)
岩成 祐輝	企画総務部付 J・A・いずもアグリ開発(株)(出向)	(営業部生産資材課配送センター)
黒田 真弘	企画総務部付 (有)JAいずもアグリイートマネージャー(出向)	(生活部ラビタ本店フライタル課サブチーフ)
石川 達也	企画総務部付 (有)JAいずもアグリマート(出向)	(生活部ラビタ本店食品日雑課)
飯國美 弥子	企画総務部付	(生活部ラビタ本店レジ課)
出雲支店		
小野 勉	出雲支店貯金課長	(西部ブロック荒茅支店長)
石飛 由美	出雲支店貯金課窓口チーフ	(中部ブロック塩冶支店窓口チーフ)
林 佑莉亜	出雲支店貯金課授信アドバイザー	(出雲支店貯金課)
宮廻 緑	出雲支店貯金課	(企画総務部付)
田辺 幸広	出雲支店融資課係長兼法人担当	(出雲支店融資課法人担当係長)
和田守 加奈	出雲支店融資課	(本店融資部融資課)
中部ブロック		
宮城 千里	中部ブロック大津支店窓口チーフ	(西部ブロック遙根支店窓口チーフ)
野津 裕美	中部ブロック大津支店	(新規採用)
成相可 寿美	中部ブロック塩冶支店共済係長	(中部ブロック塩冶支店)
板垣 加奈	中部ブロック塩冶支店窓口チーフ	(中部ブロック塩冶支店)
坂本江里 香	中部ブロック塩冶支店	(河南ブロック多伎支店)
高橋 美紀	中部ブロック塩冶支店	(東部ブロック灘分支店)
布野 久子	中部ブロック有原支店	(河南ブロック湖陵支店)
多久和 寛子	中部ブロック今市支店金融相談員	(中部ブロック大津支店窓口チーフ)
太田みゆき	中部ブロック今市支店	(東部ブロック平田中央支店)
東部営業センター		
横原 光	東部営業センター	(本店米穀園芸部付)
金山 智香	東部営業センター	(営業部総合指導課)
難波 宏江	東部営業センター	(河南営業センター)
東部ブロック		
松本 由紀	東部ブロック平田中央支店	(企画総務部ふれあい福祉課)
松田 裕也	東部ブロック平田中央支店	(新規採用)
金築 真理	東部ブロック灘分支店	(中部ブロック大津支店)
阿部 弥生	東部ブロック国富支店長代理兼金融係長兼年金専門員	(金融共済部金融企画課チーフ兼年金専門員)
吉清 結	東部ブロック国富支店兼年金専門員	(東部ブロック国富支店長代理兼金融係長兼年金専門員)
西部ブロック		
山根 康太	西部ブロック荒茅支店長	(営業部営業企画課係長)
三上 敏弘	西部ブロック大社支店兼日御崎店長	(西部ブロック大社支店兼次長兼日御崎店長)

和田美奈子	西部ブロック大社支店次長	(出雲支店貯金課長)
伊藤 幸久	西部ブロック大社支店金融係長	(西部ブロック大社支店長代理兼金融係長)
中島めぐみ	西部ブロック遙根支店窓口チーフ	(中部ブロック有原支店)
河南営業センター		
福田 尚夫	河南営業センター長	(河南営業センター長兼多伎農産加工工場)
今若 稔	河南営業センター多伎農産加工工場長	(新規採用)
板倉 卓巳	河南営業センター多伎農産加工工場	(新規採用)
並河 亮佑	河南営業センター	(南部営業センター)
長瀬 礼美	河南営業センター	(南部営業センター)
河南ブロック		
森井 晴香	河南ブロック神西支店	(東部ブロック平田中央支店)
今岡 真由美	河南ブロック神戸川支店金融係長	(河南ブロック神戸川支店共済係長)
神門 延好	河南ブロック神戸川支店共済係長	(中部ブロック塩冶支店共済係長)
勝部 美保	河南ブロック多伎支店	(南部ブロック朝山支店)
高橋 勇人	河南ブロック湖陵支店金融相談員	(南部ブロック佐田支店)
南部営業センター		
高橋 恵子	南部営業センター営業相談員	(営業部総合指導課営業渉外員)
小玉 元気	南部営業センター	(営業部営業企画課営業事務センター)
南部ブロック		
星野 睦	南部ブロック朝山支店	(新規採用)
伊藤 悟子	南部ブロック佐田支店窓口チーフ兼年金専門員	(河南ブロック神戸川支店)
退職者 (平成30年8月31日付)		
氏名		
加田 芳久	本店畜産部酪農課長(定期職員として再雇用(本店畜産部酪農課))	
武田 郁夫	本店共済部自動車共済課長	
片寄 厚	営業部生産資材課長兼グリーンセンター出雲店長	
板垣 学	営業部販売開発課	
須山 淑子	出雲支店貯金課窓口チーフ	
小村 明美	南部ブロック佐田支店窓口チーフ	
黒田 捺美	西部ブロック高松支店	
古山 幸司	生活部ラビタ本店生花販売課マネージャー(定期職員として再雇用(生活部ラビタ佐田店))	
藤原 基文	自動車燃料部ガスタンク	
飯國 郁夫	自動車燃料部石油課北部給油所サブチーフ(定期職員として再雇用(自動車燃料部石油課北部給油所))	
柳 克美	営業部生産資材課グリーンセンター出雲	
岩成 隆	河南営業センター	
佐藤まり子	生活部ラビタ本店生花販売課	
旧任		

JAしまね出雲地区本部 営農部門職員業務用携帯番号表

平成30年9月1日現在

営農センター・課	氏名	番号	役職
中部営農センター 31-9055 センター長 岩成 莊	井上 博行	080-2914-8437	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	河上 晃	080-2914-8436	営農相談員
	梶谷 宏樹	080-2914-8439	営農相談員
	春日 慎也	080-2914-8438	
	伊藤 裕海	080-2914-8447	
東部営農センター 62-9059 センター長 飯塚 修治	福庭 茂雄	080-2914-8442	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	常松 靖行	080-2914-8445	係長兼営農相談員
	河瀬 浩隆	080-2914-8443	営農相談員
	落合 芳成	080-2914-8441	営農相談員
	須田 有香	090-4696-5034	営農相談員
	榎原 光	080-2914-8448	
	金山 智香	080-2914-8446	
	吉井 大	080-2914-8461	
西部営農センター 53-2168 センター長 石飛 英彦	常松 葉奈	090-4652-7500	
	井上 春樹	080-2914-8444	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	落合 稔	080-2914-8454	営農相談員
	多久和 修	080-2914-8457	営農相談員
	佐藤 真吾	080-2914-8456	営農相談員
	高橋 将大	080-2914-8452	営農相談員
	遠藤 優太	080-2914-8451	
河南営農センター 43-7007 センター長 福田 尚夫	日下 朋子	080-2914-8455	
	多久和雄輔	080-2914-8459	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	小村 晃	080-2914-8476	営農相談員
	野中 一敏	080-2914-8463	営農相談員
	小川 陽子	080-2914-8462	営農相談員
南部営農センター 84-0213 センター長 原 崇	三島 和輝	080-2914-8460	
	小村 洋平	080-2914-8467	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	今岡 翔哉	080-2914-8469	営農相談員
	安食 寿久	080-2914-8470	営農相談員
	高橋 恵子	080-2914-8466	営農相談員
	高橋 大輔	080-2914-8465	営農相談員
	石飛 創太	080-2914-8468	
総合指導課 21-6038 課長 矢田 満	園山 啓治	080-2914-8473	特産係長兼営農指導員兼GAP推進リーダー
	阿式 秀典	080-2914-8472	農産係長兼営農指導員
	今岡 尚樹	080-2914-8474	係長兼営農指導員
	大野 真司	080-2914-8453	営農指導員
	今岡 浩	080-2914-8475	営農指導員
	永井 裕二	080-2914-8440	営農渉外員(中部ブロック)
	梶谷 慎吾	080-2914-8449	営農渉外員(東部ブロック)
	渡部 優太	080-2914-8458	営農渉外員(西部ブロック)
	景山 敦	080-2914-8464	営農渉外員(河南ブロック)
	原 友莉恵	080-2914-8471	営農渉外員(南部ブロック)
畜産課 21-6043 課長 和田 賀成	岩崎 佳恵	080-2901-5120	係長兼営農指導員
	廣戸 一也	080-2901-5116	営農指導員
	久谷 憲司	080-2901-5118	営農指導員
	佐々木健二	080-2901-5117	営農指導員
	浅津 遼	080-2901-5119	営農指導員
販売開発課 21-6118 課長 鎌田 誠二	鎌田 誠二	090-3170-1570	課長
	西尾 一俊	090-7970-8486	係長
	廣戸 大訓	080-2914-2696	
	原田恵梨子	090-3375-1543	
生産資材課 21-6047 課長 佐田尾 豊	森山 諒	080-2946-1296	



JALしまね出雲青年連盟 親子で収穫体験 イモほり大会 参加者募集!

JALしまね出雲地区本部管内の農業青年で組織する「JALしまね出雲青年連盟」では農業の大切さ、秋の収穫への感謝のころを実体験していただくため、「イモほり大会」を企画しました。

楽しくにぎやかに「農」を体感していただけるイベントとなっておりますので、お子さまを中心にご家族お揃いでお出掛け下さいませよう、ご案内いたします。

- 開催日時 / 平成30年10月21日(日) 午後1:30~受付、午後2:00より開始(2時間程度)
- 開催場所 / 湖陵町「観光イモほり農園」集合(どんとこい市場より徒歩5分)
- 募集区画 / 先着30区画
- 申込み切 / 平成30年10月1日(月)
- 参加費 / 1区画(18株)10キロ程度、2,500円(本来2,800円ですが、差額は青年連盟にて負担します)(当日徴収しますのでお釣りがいらぬようお願いします)
- 開催内容 / ①イモほり ②宝さがしイベント
- 準備品 / 移植ごて・軍手・袋をご用意ください。
- お申込み / 電話またはFAXで住所、氏名、電話番号、参加されるご家族の人数、区画数を申込書にご記入の上、お近くのJALしまね出雲地区本部各支店または営農センターまでお申し込みください。後日案内を送付します。
- その他 / 少雨決行です。(雨具の準備をお願いします)



JALしまね出雲青年連盟 イモほり大会参加申込書

氏名			
住所	〒 -		
電話番号	() -		
イモほりの区画数	参加人数	大人	子供

※お近くのJALしまね出雲地区本部各支店・営農センターまでお申し込みください。

お問い合わせ先: JALしまね出雲地区本部 営農企画課 青年連盟事務局 ☎21-6041 FAX21-6075

健康ライフかわら版

「自死を予防しましょう」

島根県の自死者数は、平成8年以降、毎年200人を超える高い状態で推移していましたが、平成22年以降は200人を下回って推移しており、平成29年は114人でした。特に、40代~60代の自死者数が多い現状があります。島根県の自死者数は、図1の通りです。

国では「自殺総合対策大綱」の改定があり、島根県でもそれに合わせて「島根県自死対策総合計画」を策定しました。

自死の要因は、健康問題や経済・生活問題と様々ですが、特にうつ病との関連が大きいと言われています。身近な問題として、関心を持ち、正しい知識を持ちましょう。

悩みを抱えている人の“サイン”に気づき、共に支え合い、自死を予防しましょう。

まずは、自分の心の不調に気づくことが重要です。図2で自己チェックをしてみましょう。うつ病の可能性があるとこの結果が出た場合は、早めにかかりつけ医や専門機関へご相談ください。

~出雲保健所では、下記のとおり心の健康相談を行っています~

- ①精神科医による心の健康相談(要予約)
日時: 原則 毎月第1・第3水曜日 13:00~14:30
- ②酒がいの相談員によるお酒の困りごと相談(要予約)
日時: 原則 第2水曜日 9:00~11:00
- ③保健師による相談(随時) ※事前にご連絡ください

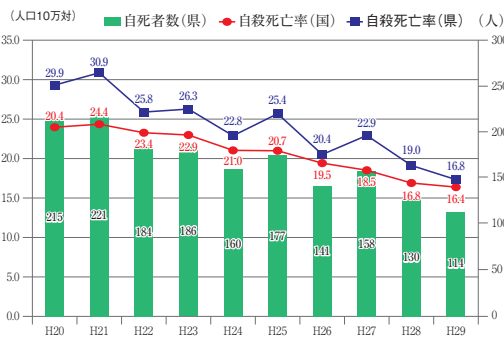


図1 島根県の自死者数・自殺死亡率の推移

うつ病の自己チェック 最近(ここ2週間ほど)こんなことが続いていますか?

1. 毎日のように、憂うつな気分または沈んだ気持ちがある。
 2. 何事にも興味がわかない。いつも楽しめていたことが楽しめない。
- この項目が一つでも当てはまる方は医師に相談して下さい。
その他、以下のような症状が毎日のようにある場合には医師に伝えましょう。
3. 食欲の低下または上昇、あるいは体重の増減がある。
 4. 睡眠の悩みがある(寝付きが悪い、真夜中や早朝に目が覚める。寝過ぎる。)
 5. 話し方や動作が鈍くなる。イライラしたり落ち着きがない。
 6. 疲れを感じたり、気がわかない。
 7. 「自分は価値のない人間だ」「悪いことをした」と感じる。
 8. 仕事でもプライベートでも、集中したり決断したりすることが難しい。
 9. 「死んだ方がましだ」「生きていくくない」と考える。
- 図2 1,2のどちらかが「○」で、さらに1~9で5つ以上「○」のときうつ病の可能性あります。

お問い合わせ先 出雲保健所心の健康支援課 ☎21-1653



出雲市農政会議だより

平成30年9月15日

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JAしまね出雲地区本部 営農企画課内)
発行責任者：事務局長 原田 透

No.78

【活動内容報告】

○出雲市農政懇談会の開催

8月7日、平成30年度出雲市農政懇談会をラピタ本店で開催しました。当日は、出雲市農政会議、出雲市議会農政議員連盟、JAしまね出雲地区本部から総勢104名が参加しました。懇談会は安達会長の挨拶で始まり、農政会議各支部および各生産部会等からの要望事項を7項目にまとめた平成31年度出雲市農業振興施策に関する要望事項について、各項目に対する現状の問題点の報告や要望に対する思いなど熱心な意見交換を行いました。

また、農政懇談会にあわせ、事前研修として出雲市議会農政議員連盟所属の市議会議員より「地方自治体を取り巻く状況と出雲市議会の取り組み」(報告者：福代議長)、「地域を支える農村協働力」(報告者：多々納市議)、「出雲の広報広聴について」(報告者：湯浅市議)と題した出雲市が抱える問題や市議会の役割を説明した市政報告があり、参加者は出雲市市政への理解を深めるため熱心に耳を傾けていました。



意見交換を行う多々納会長



挨拶する安達会長

○出雲市農業振興施策確立に関する陳情・要望の実施

8月20日、出雲市農政懇談会でいただいた意見をふまえ、「出雲市農業振興施策確立に関する要望事項」を出雲市議会へ陳情、出雲市長へ要望しました。要望事項については、下記のとおりです。

1. 農業情勢への的確な対応について
 - (1)農家経営の安定化について
 - (2)MA米(ミニマムアクセス米)の取り扱いについて
2. 農事用電力の経過措置の継続について
3. リース事業の実施について
4. 農業用廃棄ビニールに対する財政支援について
5. 強固な農業基盤の実現について
 - (1)農業用排水路等の補修・改修について
 - (2)出雲市管内の砂防ダム、ため池の点検・修繕の実施について
 - (3)農地所有者・農地耕作者の「義務」の明確化について
6. 農作業環境の改善について
 - (1)官地等における出穂前の適時除草作業の実施について
 - (2)農業用道路の整備について
7. 中山間地域に対する重点施策の実施について
 - (1)環境保全支援(草刈)について
 - (2)小規模圃場の再整備について
 - (3)有害鳥獣について
 - (4)補助事業における事業実施主体の要件緩和について



出雲市へ要望書提出



出雲市議会へ陳情書提出

「平成30年7月豪雨災害支援募金」活動に対する御礼

平成30年7月、梅雨前線などの影響で西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨をもたらし、特に岡山県、広島県、愛媛県において、多くの人命が奪われ、住宅の全壊・滅失をはじめ、農地や農業用施設にも大きな被害が発生しました。

このような状況に対し、出雲市農政会議として被災地域の日も早い復興を支援するため、JAグループしまね、鳥根県農政会議と連携し募金活動を実施しました。

結果、出雲市農政会議全体で80万円を超える募金があり、JA鳥根中央会を通じて被災地へ届けることが出来ました。

これも偏に会員の皆様のご協力のお掛けです。大変ありがとうございました。

JAしまね出雲女性部

いずもJAシニア女子大学“みずき”

受講者大募集!

「いずもJAシニア女子大学“みずき”」の第2期が平成31年1月からスタートします。今まで家族や仕事を優先で頑張ってきた50歳以上のみなさんの自分磨きを応援する大学です。皆様からのお申込みをお待ちしています!

* **受講対象者** / JAしまね出雲地区本部管内在住で女性部員または女性部加入意思のある50歳以上の方

* **募集定員** / 40名(定員になり次第終了)

* **入学式** / 平成31年1月16日(水) 9:00~

* **受講期間** / 平成31年1月16日~
翌年11月25日

* **入学金** / 3,000円

* **受講料** / 10,000円(材料費別途)

※申込書はJA各支店窓口にて配布、またはホームページからダウンロードいただけます。

* **応募締切** / 平成30年10月31日(水)

* **申込先** / JAしまね出雲地区本部の各支店窓口、またはふれあい福祉課まで。

第2期 カリキュラム

1年次		2年次	
1月	入学式 多肉植物寄せ植え	1月	そば打ち
3月	野菜講習会	3月	書道
5月	笹巻き、 三角ちまき	5月	大人の社会見学
7月	特別講演	7月	手話
9月	フィットネス フラダンス	9月	軽体操
11月	しめ縄作り	11月	卒業式&フラワー アレンジメント

お問い合わせ:ふれあい福祉課 TEL 21-6013 FAX 21-6015

出雲地区本部理事会報告

8月21日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈協議事項〉

- (1)大口貸出金の承認について
- (2)大口貸出先条件変更の承認について
- (3)不良債権の処理方法について
- (4)出雲地区本部庭先集荷料・諸経費料の取扱要項について
- (5)次期中期3ヵ年計画について

〈報告事項〉

- (1)出雲市農業振興施策確立に関する要望書について
- (2)地区別組合員大会の意見・要望について
各地区で開催しました組合員大会では、皆様より貴重な意見を頂戴しております。頂戴しましたご意見・ご要望は今後の事業に反映していきます。
- (3)第1四半期の事業取扱並びに収支実績について
- (4)平成30年7月末事業実績について
- (5)臨時総代会ならびに総代説明会について
総代説明会を10月21日(日)に、臨時総代会を11月8日(木)に開催します。



たくさん育て、 たくさん食べよう タマネギ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

切ると出る涙の原因は硫化アリル、ビタミンB1の吸収を助けて新陳代謝を活発にし、コレステロールの代謝を活発にし、血液をサラサラにして動脈硬化や高血圧、糖尿病を予防する効果もあります。近年明らかになったところによると、野菜の中では最も細菌病、大腸菌などを寄せ付けず、安全性では極めて優れていることが裏付けされています。

タマネギは病害に強く、毎年同じ畑でも作れるので、自家菜園の作付けにとっても大変有利です。貯蔵力もあり、使い道も幅広いので、たくさん育てることをお勧めします。

家庭菜園では、通常晩秋に出回る苗を買い求めて育てる場合が多いのですが、ご承知のようにタマネギは黄、白、赤の品種があり、収穫期の違う極早生、早生、中生、晩生と特徴のある数々の品種があります。

これらを上手に育て楽しむには、自分で好みの品種を選び、種子から育てる必要があります。特に直売など販売を目的とする場合は、苗代の負担も大きくなってしまいます。

種まきの適期は、極早生8月下旬～9月上旬、早生9月上旬、中生9月中旬、晩生は9月下旬です。適期まきはとても重要なことなので、地元のJAや種苗専門店、栽培農家などに聞いて決めることが大切です。特に中晩生の品種を早くまき過ぎると、越冬するまでに大きく育ち過ぎ、寒気に感じ過ぎてとう立ちするものが多く、失敗します。

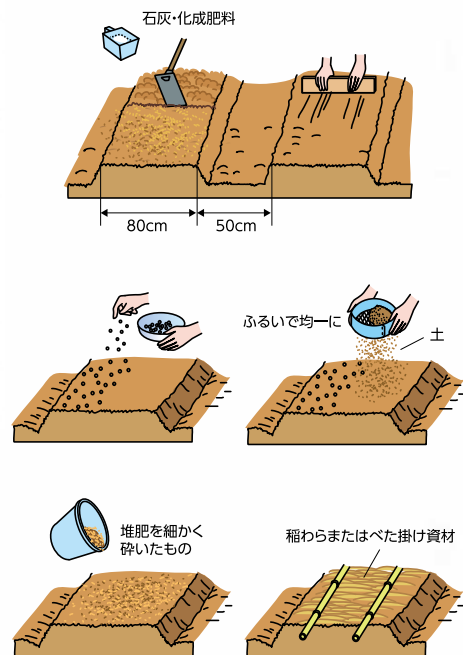
苗を上手に育てるには、苗床の前作を早めに片付け、種まきの20日以上前に完熟堆肥と石灰、化成肥料をよく耕やしておきます。トマト、ナスなどの強い根が残る野菜の跡地は避けてください。

種まき前にベッドを作り、図のように丁寧にベッドの表土をならしてから約1～2cm間隔ぐらいに均一に種をまきます。そしてふるいで2～3mmほどの厚さに、満遍なく覆土し、板切れなどで軽く表土をたたいて鎮

押し、その後ジョウロでたっぷり灌水（かんすい）します。

その上に細かく砕いた完熟堆肥をごく薄く覆い、その後苗床全面を稲わらやべた掛け資材を二重に覆い、残暑や乾燥、台風や強風の被害から守ります。

種まき後5～7日で発芽し苗が伸び始めたら、これらの被覆資材は取り除き、ジョウロでたっぷり灌水して生育を促します。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎保険料はいつでも変更できます。

月々2万円から6万7千円まで

◎こんな方が加入できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、

所得税や住民税等の節税になります。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例：認定農業者で青色申告者等
35歳未満の人は10,000円(5割)補助

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL.03-3502-3199

企画調整室 TEL.03-3502-3942

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または農業者年金基金にお問い合わせください。

鳥根県立農林大学校 入学試験実施のお知らせ

募集人員

- ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 30名
- ②林業科 / 10名

試験日

学校長推薦・自己推薦 / 平成30年10月24日(日)

一般前期 / 平成30年12月5日(日)

一般後期 / 平成31年2月13日(日)

地域推薦 / 随時

※一般後期試験は実施しない場合があります。

試験会場

鳥根県立農林大学校(大田市)

詳しくは

農林大学校のホームページ、
または農林大学校(☎0854-85-7012)まで。



**毎日営業
致します!!**

**営業時間
PM5:30~
PM9:00**

うれしい低価格!!

通常料金

男性 **3,300円** (税込)

女性 **2,800円** (税込)

中学生
から
20歳未満 **2,000円** (税込)

小学生 **1,500円** (税込)

幼児
(3歳~6歳) **500円** (税込)

※20歳未満の方は保護者または監督者同伴。

会場

ラピタ本店屋上

ラピタ ビアガーデン

**残りわずか
9/30日まで開催**
チケットをお持ちの方は
ぜひご利用ください!
※チケットの払い戻しはできません

LAPITA
BEER GARDEN

地域とともに
ラピタ
組合員の皆様へ

ご予約・お問合せ
フロント **TEL:0853-21-6063**

※飲酒運転は法律で禁じられています。※お酒は20歳になってから。

**2019ラピタ
ランドセル*** **新作 20%OFF**

・おさいふカードにポイントが付きます
・無料ラッピング承ります

毎日楽しくなる
ハートがいっぱいの
ランドセル

**MODEL ROYAL
クリスタル**
ピーチピンク×マカロンピンク
平日価格68,040円
54,432円 (税込)

**MODEL ROYAL
ベーシック**
ブラック×マリンブルー・
ゴールド・レッド
平日価格59,400円
47,520円 (税込)

**MODEL ROYAL
ベーシック**
サックス、パステルパープル
平日価格59,400円
47,520円 (税込)

**Lovepea
ラブピ
ガーリー**
パールパープル
平日価格62,640円
50,112円 (税込)

**WANPA
イーグル**
イーグル
ブラック、ブラック×
カーマインレッド・マリンブルー
平日価格62,640円
50,112円 (税込)

**Lovepea
ラブピ
ミルクィー**
ビビットピンク、パステルパープル
平日価格57,240円
45,792円 (税込)

**旧モデル
ランドセル 30%OFF**
数に限りがございます。お早めに!!

ラピタ本店 2階衣料品コーナー TEL 0853-21-6061

自然にやさしい
リサイクルサービス

ラピタ本店に
リサイクル
ステーション

OPEN

eco
ラピタ

古新聞・古雑誌・ダンボール・
アルミ缶のリサイクルで
ポイントを貯めよう!

ラピタ本店のみ

100エコポイント貯まると
おさいふカードに加点できる
100ポイント分の
リサイクルポイント
加点券を発行!!

eco 本店 eco Point 100P
古紙1kg=1エコポイント

9月15日±スタート!

eco 設置場所
ケンタッキーフライドチキン
ラピタ本店
メモリアやずらぎ

オープニング
キャンペーン

9/30日までエコポイント3倍

ラピタ本店生活用品課より

シロアリ **無料** 調査実施中!!

床下のシロアリ無料調査に
お伺い致します。
お気軽にお申し込み下さい。

シロアリは気付かないうちに住みついている
かも。早めの防除があなたの家を守ります。



JAのハチの駆除

ハチのシーズンになります。ハチは近寄らず、触らず!!
最寄りのJA各支店またはラピタ本店生活用品課へ連
絡下さい。ハチの駆除はプロにお任せください!!



お問い合わせ先

出雲地区本部 ラピタ本店生活用品課
TEL:0853-21-6083

取扱業者

(公社)日本しろあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コタマサイエンス

■本社/松江市西塚島2丁目8-23 ☎0852-43-0852
■松江営業所/☎0852-26-6757

ラタトゥイユ



夏野菜をたっぷり使った、蒸し煮です。いろいろな野菜の味が混ざり合い旨味たっぷりです。温かくても冷めてもおいしい。そのままでも十分おいしいけど、

- ・肉や魚の付け合わせ
- ・豆腐の上に乗せる
- ・バケットの上に乗せる
- ・パスタとあえてもおいしいです

●材料（4人分）

トマト	2ケ	パプリカ	1/2ケ
なす	2本	にんにく	2かけ
ズッキーニ	1本	オリーブ油	大さじ2
玉ねぎ	1ケ	塩	小さじ1/2弱
ピーマン	1/2ケ	コショウ	少々

●作り方

- ① トマトは湯むきし、へた、種を取り乱切りにする。
- ② なす、ズッキーニを乱切りか輪切りにする。
- ③ 玉ねぎ、ピーマンを1.5cmの角切りにする。
- ④ にんにくは芽を取り軽くつぶす。
- ⑤ 鍋にオリーブ油、にんにくを入れ香りを出す。
- ⑥ 野菜を入れ、塩、コショウし、ふたをして蒸し煮にする。

JAしまねびより 表紙絵原画展



【野々村直通先生】

開催日：平成30年10月11日[木]～10月16日[火]

開催時間：9:30～18:30 ※最終日は17:00まで

場所：ラピタ本店1階センターコート（出雲市今市町）

内容：

- JAしまねびより表紙絵展示
- ながお絵 / 1名様1枚：2,000円（税込）

※当日の混雑状況によりお断りする場合があります。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙はローソク島とフェリーしらしまです。島後島の北西沖の海面上から高さ20mほど突き出したローソク島は、奇岩として人気の観光スポットです。見どころは夕景で、夕日と重なり本物の蠟燭のように見える奇跡の瞬間を求め、県内外から多くの観光客がフェリーで島を訪れます。

編集後記

今月の地区本部トピックスは、子ども向けの夏休みイベントや職員の夏祭り参加など、夏の話が盛りだくさんになりました。今年は猛暑でしたが、県内の各地でそんな暑さを忘れるくらいの楽しい思い出が生まれたのではないのでしょうか。



【今月の表紙の原画】
 原画の全体は次のとおりです。